

教育委員会議事録

(公開部分)

令和6年7月定例会

海老名市教育委員会

教育委員会議事録
(令和6年7月定例会)

- 1 日 付 令和6年7月24日(水)
- 2 場 所 海老名市役所 4階 401会議室
- 3 出席委員 教育長 伊藤 文康 教育委員 平井 照江
教育委員 濱田 望 教育委員 武井 哲也
教育委員 海野 望
- 4 出席職員 教育部長 江下 裕隆 教育部次長 吉川 浩
教育部教育支援担当部長兼教育支援担当次長事務取扱兼教育支援課長事務取扱 麻生 仁 教育部参事(給食・公会計担当) 山崎 淳
教育部参事兼就学支援課長兼指導主事 山田 圭 教育部参事兼教育総務課長 西海 幸弘
教育支援課主幹兼指導主事 藤原 大佑 教育支援課副主幹兼指導主事 日野 玄隆
海老名市教科用図書採択資料作成委員会委員長 小宮 洋子 学び支援課長 松本 晃子
- 5 書 記 教育総務課総務係長 小林 亮介 教育総務課主査 片山 考人
- 6 傍聴人 21名
- 7 開会時刻 午前10時00分
- 8 付議事件
【審議事項】
日程第 1 議案第 19 号 令和7年度使用教科用図書採択について
- 9 閉会時刻 午後4時13分

○伊藤教育長 本日の出席委員は全員です。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。これより教育委員会7月定例会を開会いたします。

本日は傍聴希望者がございます。会場前で密集することがないように、既にご着席いただいておりますが、ここで傍聴の許可についてお諮りいたします。傍聴者につきましては、教育委員会会議規則第19条に規定されておりますので、傍聴を許可したいと思いますと思いますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。よって、本会議の傍聴を許可します。

今会の署名委員は、武井委員、海野委員にそれぞれよろしく願いいたします。

○伊藤教育長 それでは、教育長報告をいたします。

教育長報告については、主な事業報告等が本日の資料に入っております。7月の教育長だよりもついています。本日はこの後の会議が長いので、これについては、また皆さんのほうでご質問等ありましたら、私のほうに後でお出しいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○伊藤教育長 それでは、審議事項に入ります。

日程第1、議案第19号、令和7年度使用教科用図書採択についての審議を行います。

教育部長に提案理由の説明を求めます。

○教育部長 よろしくお願ひします。それでは、資料1ページをご覧いただきたいと存じます。議案第19号、令和7年度使用教科用図書採択についてでございます。提案理由につきましては、令和7年度において使用する教科用図書について決定をしたいためでございます。

資料2ページをご覧いただきたいと存じます。令和7年度使用教科用図書採択についてご説明いたします。

本日は、1から3の3点について審議をお願いいたします。

1点目は、令和7年度使用中学校教科用図書の採択でございます。これは、令和7年度から令和10年度までの4年間使用する種目の教科用図書を5ページの別紙1、中学校用教科書目録(令和7年度使用)に登載されております教科書のうちから、13ページの別紙2、令和7年度使用中学校用教科書海老名市教科用図書採択資料作成委員会報告書を参考

として採択の議決を求めるものでございます。

2点目は、令和7年度使用小学校教科用図書の採択でございます。こちらは、令和5年度に一斉に採択替えを行ったもので、種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は4年と定められていることから、現在使用しているものと同一の教科用図書を今年度に採択したいものでございます。

なお、種目は記載のとおりでございます。資料47ページの別紙3、小学校用教科書目録（令和7年度使用）、資料61ページの別紙4、令和6年度使用小学校教科用図書一覧、資料63ページ、別紙5、令和6年度使用小学校用教科書 海老名市教科用図書採択資料作成委員会報告書を添付してございますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。

3点目は、令和7年度使用特別支援学級教科用図書の採択についてでございます。学校教育法附則第9条及び同法施行規則第139条の規定により、特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、一般図書から採択することができるとなっております。また、1年間の採択期間で1種目について複数の図書を採択することができることから、令和7年度の1年間使用する特別支援学級の教科用図書につきまして、資料91ページの別紙6、令和7年度用一般図書一覧から、児童生徒に応じて採択することとしたいものでございます。こちらも後ほどご高覧いただきたく存じます。

なお、関係法令等の抜粋といたしまして、資料3ページに義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律、同法施行令及び同法施行規則、資料4ページには学校教育法及び同法施行規則を抜粋してございますので、こちらも後ほどご高覧いただきたく存じます。

それでは、1件ごとの詳細につきまして教育支援担当部長よりご説明申し上げますので、よろしくご審議いただき、ご決定いただきますようお願い申し上げます。私の説明とさせていただきます。

○教育支援担当部長 1点目の令和7年度使用中学校教科用図書の採択についてご説明いたします。

5月の臨時教育委員会において、海老名市教科用図書採択基本方針として「令和7年度の中学校教科用図書は、神奈川県教育委員会が定める『令和7年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針』に基づき、海老名市教育委員会が設置した海老名市教科用図書採択資料作成委員会の報告を資料とし、種目ごと1種の教科用図書について海老名市教育委員会が採択する」と承認されております。また、海老名市教科用図書採択資料作成委員会では

「令和7年度の中学校教科用図書は、神奈川県教育委員会が定める『令和7年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針』に基づき、海老名市教科用図書採択資料作成委員会が設置した調査委員会の報告を受け、教科用図書の採択に必要な資料を取りまとめ、海老名市教育委員会へ報告する」と承認されております。

以上の点を踏まえまして、5月21日と7月5日に行われました採択資料作成委員会の報告書につきましてご説明させていただきます。

お手元の令和7年度使用中学校用教科書 海老名市教科用図書採択資料作成委員会報告書をご覧ください。この報告書は、採択資料作成委員会が全種目の中学校教科書を調査して作成したものでございます。この報告書には、海老名、大和、座間、綾瀬の4市の調査員が1回目を5月30日、2回目を6月18日、3回目を6月27日に調査委員会を合計3回行い、その調査結果を採択資料作成委員会へ報告した内容を採択資料作成委員会において審議した結果がまとめられております。

なお、結果については、発行者を絞り込むことなく、それぞれの発行者について調査した結果でございます。また、市内全ての中学校へ教科書の見本本を1週間回覧し、学校からの意見を集約した結果も併せてまとめられております。学校意見の集約方法については、まず、学校において、観点に沿って調査した後、学校意見表をまとめていただき、それを採択資料作成委員会委員長が委嘱した整理員が集計し、その結果を基に採択資料作成委員会において報告書に発行者ごとに記載いたしました。この採択資料作成委員会報告書に加え、文部科学省の教科書編修趣意書、県教育委員会の調査研究の結果を踏まえ、ご審議くださいますようお願いいたします。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明に対しましてご質問等ある方はお願いいたします。

○武井委員 海老名市からなのですけれども、何人の現場の先生が調査員として教科書の調査をしたのか、教えていただければと思います。

○教育支援担当部長 本市からの調査員は合計で19名となります。4市合計76名の調査員の先生方が教科書を調査いたしました。

○濱田委員 今の質問に関連してなのですけれども、今年度、調査員の先生方、教科別の人数を教えてくださいたいと思います。

○教育支援担当部長 発行者の数や教科書の点数によって調査員の数は調整いたしました。具体的に申し上げますと、海老名市からは、国語・書写と社会はそれぞれ3名ずつ、

地図、音楽、美術、技術、家庭、保健体育は1名、そのほかの教科は各2名が調査員となりました。

○平井委員 学校からの意見について「観点にそって調査した」とありましたけれども、その観点について説明をお願いしたいと思います。

○教育支援担当部長 各種目ともに、神奈川県教科用図書採択方針に準じまして10項目の観点を設定いたしました。そのうち、6項目は各種目に共通な観点でございます。例えば「学習指導要領の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか」や「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか」などでございます。次の3項目については種目別の観点となります。例えば国語であれば「語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされているか」などでございます。最後の1項目は、各校の「生徒の実態からみて適切か」というような観点になっております。

○伊藤教育長 ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご質問等もないようですので、それでは、1点目の審議に移ります。

審議の前に発行者名の略称について確認させていただきます。発行者名は、別紙1、12ページの中学校用教科書発行者一覧をご覧ください。12ページ右側の発行者一覧の順に、略称で申し上げます。略称については、東京書籍株式会社を「東書」、大日本図書株式会社を「大日本」、教育図書株式会社を「教図」、開隆堂出版株式会社を「開隆堂」、学校図書株式会社を「学図」、株式会社三省堂を「三省堂」、教育出版株式会社を「教出」、株式会社教育芸術社を「教芸」、光村図書出版株式会社を「光村」、株式会社帝国書院を「帝国」、株式会社大修館書店を「大修館」、株式会社新興出版社啓林館を「啓林館」、株式会社山川出版社を「山川」、数研出版株式会社を「数研」、日本文教出版株式会社を「日文」、株式会社Gakkenを「学研」、株式会社自由社を「自由社」、株式会社育鵬社を「育鵬社」、株式会社学び舎を「学び舎」、あかつき教育図書株式会社を「あか図」、日本教科書株式会社を「日科」、令和書籍株式会社を「令書」となっております。

それでは次に、採択の方法について確認させていただきます。開かれた採択を一層推進するという趣旨から、1点目の令和7年度使用中学校教科用図書の採択の方法は、種目ごとに皆さんで協議した後、私が教科書目録に記載されている順に発行者名を略称で言いますので、最も適するものに挙手をいただくという方法で採択したいと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 次に、採択資料作成委員会の調査結果については、海老名市教科用図書採択資料作成委員会、小宮洋子委員長に報告していただくこととしますが、ご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。では、小宮洋子委員長を入室させてください。

(小宮委員長 入室)

○伊藤教育長 小宮委員長、報告書の作成、どうもありがとうございました。

それでは、簡単で結構ですので、自己紹介をお願いしてよろしいでしょうか。よろしくお祈りします。

○小宮委員長 今回の採択資料作成委員会の委員長を務めました小宮洋子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○伊藤教育長 それでは、これより、1点目の令和7年度使用中学校教科用図書についての審議に入ります。

なお、発行者の呼び方は、先ほど紹介した略称で行うことをご了承ください。

初めに、中学校教科用図書「国語」の審議に入ります。採択資料作成委員会からの報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 国語は、東書、三省堂、教出、光村の4者です。お手元の海老名市教科用図書採択資料作成委員会報告書の1ページをお開きください。報告内容を読み上げさせていただきます。

東書は、教育基本法第2条に基づき、豊かな人間性と社会性を育み、生涯学び続ける姿勢を養えるよう、生徒の関心や発達段階を踏まえて提示されている。また、教科書全体を通して『未来を考えるための9つのテーマ』があり、国語の学習を通して自分や社会の課題と向き合えるように工夫されている。学校からは、「学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

三省堂は『領域別教材一覧』の中で、教材ごとに学習指導要領で示されている育成する資質・能力と単元の関連が図られている。また、『学びの道しるべ』の中で、『思考の方法』が教材ごとにイラストで分かりやすく示されているため、生徒の学習活動が円滑に進

むよう工夫されている。学校からは、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている」という意見が多くあった。

教出は、教育基本法第2条に基づき、学習過程において自分の考えを伝え合う場などが設定できるように『みちしるべ』が提示されている。また、複数領域の学習教材をSDGsの視点でまとめた単元が全学年において取り入れられており、論理的な思考力を高め、深められる題材が配置されている。学校からは、「語彙を豊かにするための題材として工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

光村は、学習指導要領に関連した「資質・能力の3つの柱」を育成すべく、言葉の力を習得・活用することで未知なる世界への適応、解決に繋げる工夫がされている。また、『語彙ブック』によって、自分の思考や感情を的確に言語化するための力を、各学年の発達段階や教材の内容に応じて系統的に獲得できるように工夫されている。学校からは、「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの報告に対しましてご質問等ありましたら、委員さんからよろしくお願いします。

○海野委員 三省堂では「学びの道しるべ」とありますが、具体的な説明がありましたら伺います。

○小宮委員長 採択資料作成委員会では「学びの道しるべ」について、生徒が見通しを持って学習できるよう、上段に学習内容、下段に学習のポイントや思考の方法などが記載され、分かりやすいレイアウトとなっているとの説明がございました。

○平井委員 話し合う授業では、生徒にコミュニケーション能力が求められると思います。特に説明する力、伝える力では語彙力が果たす役割が大きいと思います。学年により差はあるものの、最近、読書量や読書時間が以前より少なくなっている傾向にあると中学生の調査結果も出ています。そのために語彙力が乏しいのではないかなと思うのですが、言葉の基本について、工夫しているという説明は調査員からありましたか。

○小宮委員長 ございました。調査員からは、光村について語彙ブックを通してたくさん言葉と出会い、発達段階や教材に応じて語彙を系統的に獲得できるよう工夫されているという説明がございました。

○伊藤教育長 光村の語彙ブックは前回のときもついていたと思うのですがけれども。

○武井委員 国語の教科書は、各発行者において文章の表現力を高めるためにどんな工夫

がされていて、具体的にどの部分にある内容とかいう説明はあったのでしょうか。

○小宮委員長 採択資料作成委員会ではその点について報告はございませんでした。事務局で回答できますでしょうか。

○教育支援担当部長 令和6年度の神奈川県教育委員会の教科用図書調査研究の結果を見てみますと、各社とも表現力を含めた資質、能力を育成するためとして、相手の話を受け止め、引き出す学習活動というものを各学年に設定するなど工夫がなされているというような報告がございました。

○濱田委員 生徒へ配慮するために、インクルーシブ教育としての視点あるいは話題が委員会ではありましたでしょうか、いかがでしょうか。

○小宮委員長 ございました。ユニバーサルデザインの観点から、誰でも読みやすく、学びやすい書体を活用したり、図版も大きく掲載されていたりと生徒が見やすい工夫がされていることが話題になったところです。

○伊藤教育長 我々から見ても、どこの教科書会社も本当に見やすく工夫されているなど思うところでございます。

ほかには採択資料作成委員会についての質問等はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、ご質問等がないようですので、採択に向けての協議をしていきたいと思えます。ご意見のある方、お願いいたします。

○海野委員 それぞれの教科書によって、写真で表現しているもの、イラストで表現しているものがあり、違いがあることが分かります。生徒の興味関心を持たせることは大切であるのではないかと思います。

○伊藤教育長 写真で使われているか、イラストで使われているかというのが子どもたちにとってどうだということはね。

ちなみに、海野委員は、写真とイラストはどちらがいい感じがするのですか。

○海野委員 写真はみんなすごく分かりいいのですけれども、イラストのほうが入りやすい、見やすいということはあると思えます。興味を持ってくれればいいのかな、と思うので、どちらかといわれても…。

○伊藤教育長 どうもすみません。教材によってどちらが有効だということは、つくる側も考えることは必要かなと私は思います。どちらが子どもたちは意見が言いやすいとか、または、子どもたちにその教材を伝えるにはどちらが効果的だとかいうことはすごく大事

なことだと思います。

○武井委員 二次元コードの数が多くて、デジタルコンテンツがすごく充実していることが分かります。生徒自らが判断して、資料や情報を活用できるようになっておりまして、個別最適な学びが実践できるようになっているなど感じました。

○伊藤教育長 小宮委員長、実際に今、中学校の校長先生をしていただいていますけれども、学校での二次元コード、いろいろな教科書に使われていると思いますけれども、その活用の状況についても何かコメントできることがあったらお願いしたいのですけれども。

○小宮委員長 日常的に子どもたちは机の上に、教科書、ノート、そして中学校だとクロームブックを置いた状態で授業をしていることが多く、教師から提示して、この二次元コードで、例えばですけれども、ミシンのボビンの部分を動画で拡大して見てみましょうなんていうふうにする場合もあるし、子どもが実際に問題を解いて、ちょっと時間があつたときに二次元コードを読み込んでいるなんていう場面もよく見るところです。

○伊藤教育長 結構使われているというか、言葉は悪いのですけれども、有効なのだと思います。

○濱田委員 中学生の学習を指導するに当たりまして、生徒に見通しを持たせること、興味や関心を持たせることは非常に大切なことだと思います。各発行者とも生徒が段階的に学習ができるような工夫がされていると思います。

○伊藤教育長 ここに4者並んでいるのですけれども、学習の流れが子どもたちに分かりやすく、どの教科書会社も工夫されているなというのがすごくよく分かります。昔はこんな丁寧ではなかったよね。私はそんな感じがするのだけれども。

○武井委員 見やすいし、分かりやすい。

○平井委員 各社ともとても丁寧な教科書づくりがされているなと思いました。今、教育長がおっしゃったように、以前に比べたら、とても分かりやすい教科書づくりだなと思います。また、それだけに中学1年生が入学してきて、この国語の教科書を手を取ったときに、きっと教科書の厚さに驚くのではないかと思います。ですから、私は、最初の4月の教材というのがすごく大きいかな。初めて出会う教材なので、それによって国語への学習意欲にもつながると思いますし、また、読書への関心にもつながってくるのかな。そういう中で各社とも資料をつくってくださっていますが、光村の語彙ブックは学年に応じて系統的に語彙を身につけられるように工夫されていて、系統的に分類された描写、言語、言

動、思考など工夫されているのですね。とても分かりやすく、大人の私たちから見ても非常に参考になると思います。私、個人的にはこの語彙ブックを手元に置いておきたいな。やはり大人でも語彙がなかなか増えないというか、適当な語彙を使えない場面がありますので、非常に関心を持ちました。そういうことから、生徒がたくさんの言葉と出会って、自分の思いを自由に思い切り表現できるようになればいいなと思いますので、私は光村の教科書で教えたいと思います。

○伊藤教育長 最後に平井委員から光村推しの発言がありましたけれども、皆さんも語彙ブックを見ていただけると、様々な言葉の表現が載っていて、自分のそばに置いておきたいというか、手紙を書いたり、いろいろな挨拶文をつくる時にもすごく参考になるようなものがあるので、現行の海老名は光村で、言葉自体を大切にすることが基本的には大事なのかな。いろいろな言葉を人それぞれの感情の中でも使い分けたり、言葉の表現力が広がるのはとても大事なかと私個人も思うところでございます。

ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ちょっと平井委員にごり押しされそうな気がしないでもないのですけれども、いきましようか。

それでは、ご意見もないようですので採決いたします。教科書目録順に発行者を読み上げますので、挙手をお願いします。

(東書0票、三省堂0票、教出0票、光村5票)

○伊藤教育長 以上の結果、最多の5票を得ました光村を採択することに決定します。「国語」の採択についての審議を終了とします。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「書写」の審議に入ります。採択資料作成委員会からの報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 書写は、東書、三省堂、教出、光村の4者です。報告書3ページをご覧ください。報告内容を読み上げさせていただきます。

東書は、かながわ教育ビジョンに示されている「思いやる力」に関連して、外国人観光客や人権、福祉に関連する話題を取り上げるなど、他者を尊重し、多様性を認め合う力を育てられるよう配慮されている。また、他教科のノート例や防災パンフレットなど、他教科と関連している単元・教材には『教科関連マーク』がつけられ、意識付けが図られてい

る。学校からは、「文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

三省堂は、かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して、日常生活・社会生活で使う言葉や書き方を硬筆で練習し、手紙を書くなど、社会生活で生かせるように工夫がされている。また、冒頭部では小学校までの既習事項が整理され、さらに第3学年の教材や『書写の広場』では発展的な内容を取り上げて高校書道への興味・関心を広げることで系統的な学習がなされている。学校からは、「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教出は、学習指導要領で求められている3つの柱を育むために、「書く力」「学び方」「活用する力」の3つの力を軸に内容を構成し、幅広い知識と教養の中から生徒が自ら課題を見つけ、解決を図れるよう工夫されている。また、国語との関連を意識し、硬筆教材に文学作品や古典を扱ったり、文字文化の資料を掲載したりすることで、伝統や文化に関する教育の充実が図られている。学校からは、「日常の学習や生活に役立てる態度を育てるための工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

光村は、かながわ教育ビジョンに示されている「社会とかかわる力」に関連して『文字を使い分ける』『日常に役立つ書式』が設定され、学んだことを日常生活に生かせるよう工夫されている。また、別冊『書写ブック』において、毛筆の教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を設定し、書写の基礎・基本を身に付けられるよう工夫されている。学校からは、「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの報告に対しましてご質問等ありましたら、委員さん、お願いいたします。

○海野委員 国語の書写なのですが、書写の授業は年間何時間行われていますでしょうか。また、その授業の中で毛筆の指導というのはどのくらいあるのでしょうか、教えてください。

○小宮委員長 書写は独立した書写という時間があるわけではないので、国語の時間の中で設定しているところです。書写の指導に相当する授業時数は国語の中で、第1学年、第2学年では年間20単位時間程度、第3学年では年間10単位時間程度を相当することとなっております。毛筆の指導については、毛筆と硬筆の指導の割合を各学校と学年の実態に即して適切に設定するようになっております。

○伊藤教育長 海野委員のお子さん、中学生なのですけれども、習字道具を学校に持っていくことはあまりないですか。

○海野委員 そうですね、必要なときに持っていっているという感じなのですけれども、うちの子も書道をやっていたので。

○濱田委員 書写の授業で教科横断的な学習について何か説明がありましたでしょうか。

○小宮委員長 書写で取得した知識、技能を他教科で役立てるような方法について記載したり、他教科におけるノートの作成例とか防災パンフレット等と関連させたりするなどの工夫が図られているという説明がございました。

○伊藤教育長 ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、採択に向けての協議を進めたいと思います。また4者ということなのですけれども、皆さん、既に何度も見ていただいているのですけれども、目を通していただいて、何かご意見等ありましたらお願いいたします。

○濱田委員 4つの発行者とも学習の流れや進め方が分かりやすく示されていることがよく分かります。また、学習したことを活用して、他の教科等と関連しているため、生徒の興味や関心が高められると思います。

○伊藤教育長 どこの教科書も、学習の進め方について、子どもたちをつなぐ工夫は非常にされているということでございます。

○武井委員 各社、デジタルコンテンツがすごく工夫されておりまして、筆遣い、動きについて正しく理解できるような構成になっていると感じました。

○伊藤教育長 先ほど二次元コードのことがありましたけれども、これでやったら、今までだったら、先生が黒板で筆遣いして、それを見てという感じだったけれども、今だと子どもたちがそれを自分のタイミングで見られるということだよね。すごく分かりやすいよね。

○海野委員 ICTの活用が大分進んできていて、文字を書くことが減ってきているように感じるのですが、先ほどもちょっと子どもの話をさせていただきましたけれども、書道で文字を真剣に書くことはすごく大切なことだと思うので、文字自体を大切にしていきたいなと思っています。

○伊藤教育長 書写の時間だけではなくて、文字は多分書いているのだけれども、正しく書いたり、しっかり書くことは大事なことですよね。

○平井委員 私は、先に言ってしまうと光村がいいと思っています。書写の目的は幾つかあるのですが、毛筆で学んだことを硬筆に生かすという、幾つか目的がある中で効果も高い。そういう中で東書も書写活用ブックというものをつけていただいています。活用というか、光村も書写ブックをつけているのですが、特に中学では楷書と行書が出てきて、毛筆で学んだことを硬筆に生かしていくという点では、書写ブックというのが非常に大きく絞ってあって、練習もしやすくなっているのかなと思います。活用も効果的でありますし、毛筆で学んだことが硬筆に生かされるという点でもいいのではないかなと思いますし、子どもたちがこれから文字を使い分けていく、これから大人になっていくときに楷書や行書を使い分けていくという点からも丁寧な学びができるのではないかなと思いますので、この教科書を薦めたいと思います。

○伊藤教育長 またまた平井委員からそういう意見があったのですけれども、どうでしょうか。

教科書でお手本みたいな感じで子どもたちはこれを見て、書写ですから、最初は本当に写し書きみたいな感じでやるのです。私も一応小学校の教員だったものですから、小学校1年生だと、文字を書くのにお部屋を4つに区切って、1のお部屋から棒を引っ張って、2のお部屋のここまで来たら終わってということをやりますよ。毛筆を始めると、例えば毛筆で筆の順番は、そのとおりにやって、平仮名もそのとおりにやると不思議といい字が書けるようになっていて、そういう意味でいうと、やっぱり子どもたちが……。子どもたちに聞くと、ほかの人のを見て、字が上手だねと平気で言うのですね。だから、多分子どもたちの頭の中には、ここにあるようなお手本みたいな教科書に載っている文字がきれいな文字だという感覚がとてもあって、それを判断できるという意味でやっているということです。そういう中で、書写ブックということで平井委員から話もありましたので、私も実をいうと、現状、中学校では光村の教科書を使っていて、そのことによる指導の継続というのもある程度考えたりすると、これも選択の1つの理由になるのかなと思ったりもするところがございます。

私がまとめると、教育委員さん方に同調圧力みたいになっていないよね。

○武井委員 まだ大丈夫です。

○伊藤教育長 よかったです。

それでは、質問、意見等はよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 採決いたします。教科書目録順に発行者を読み上げますので、挙手をお願いします。書写でございます。

(東書0票、三省堂0票、教出0票、光村5票)

○伊藤教育長 以上の結果、最多の5票を得ました光村を採択することに決定します。「書写」の採択についての審議を終了します。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「社会（地理的分野）」の審議に入ります。それでは、採択資料作成委員会からの報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 社会（地理的分野）は、東書、教出、帝国、日文の4者です。報告書5ページをご覧ください。報告内容を読み上げさせていただきます。

東書は、見開きの最初に、生徒の興味・関心を引き出す導入資料を掲載し、えんぴつマークの活動コーナーを設けることで、学習にスムーズに入れるよう配慮がされている。また、各章のまとめのページでは単元を貫く課題が記載されており、課題に対して生徒の理解が深まるような学習活動が設けられるなど工夫がされている。さらに、紙面にある二次元コードから閲覧できるデジタルコンテンツが各学習課題に対して1つずつ用意されており、学習内容が理解しやすいよう工夫されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教出は、地図やグラフなどの諸資料にも『THINK!』のマークを付した問いかけを設けて、常に課題意識をもって資料を読み取ることができるように留意されている。また、ページ下部に、前出・後出箇所との関連を示す参照ページや、他分野との関連を示すことで、学習内容をより深く理解できるように構成されている。さらに、教科書と出版社のウェブサイトをクリックさせる『まなびリンク』を設けることで個別最適な学びが実現できるように工夫がされている。学校からは、「各内容の分量とその配分は適切である。」という意見が多くあった。

帝国は、単元のまとめでは、地図や写真、思考ツールなどの様々なツールを用いて地理的な見方・考え方を働かせる工夫がされている。また、各節で学習した内容について『未来に向けて』等の内容から、持続可能な社会の実現に向けて、自分事としてとらえていく工夫がされている。さらに、ページの見開き右下には『確認しよう』『説明しよう』が設置されており、言語活動を行い資質・能力が育成されるように工夫がされている。学校か

らは、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

日文は、生徒の興味・関心がわくように、写真などの資料が多く掲載されており、様々な地理的事象を読み取り、地理的な見方・考え方を働かせる工夫がされている。また、『議論してみよう』などの学習課題が設定されており持続可能な社会の実現に向け、多面的・多角的に考察し、表現する資質・能力が育成されるように工夫されている。さらに、各学習課題に二次元コードが掲載されており、動画の閲覧、確認小テストなどのデジタルコンテンツを利用して個別最適な学びができるように工夫されている。学校からは、「学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの小宮委員長の報告について、ご質問等ありましたらお願いいたします。

○武井委員 神奈川県を教材、単元で扱っているような説明は何かございましたでしょうか。

○小宮委員長 採択資料作成委員会の中では、その点について説明、報告はありませんでした。事務局から回答できるようであればお願いしたいと思います。

○教育支援担当部長 神奈川県は教科用図書調査研究の結果を見ても、各発行者ともに、神奈川県に関連した文書、写真、イラスト、グラフ等の題材は多く掲載されているとあります。具体的には、相模原市ですとか、鎌倉市ですとか、箱根、三浦半島などの記載がございます。

○伊藤教育長 海老名はないの。

○教育支援担当部長 一番近くて相模原です。

○海野委員 二次元コードを活用して興味関心を高める工夫があると思いますが、調査員から具体的な説明はありましたか。

○小宮委員長 報告書等にもありましたように、各社とも二次元コードが多く掲載されておりまして、動画の閲覧だけではなく、二次元コードを読み込むと小テストが出てくるなど、学習課題などのデジタルコンテンツも用意されていて、個別最適な学びが実現できるような工夫がされているという説明がございました。

○伊藤教育長 写真と映像だけではなくて、小テストみたいなものも出てきて、子どもたちが確認できるというのはすごいなと思うのですけれども。

○濱田委員 地理については今現在帝国を使用していると思うのですが、学校から意見などが何かありますでしょうか。

○小宮委員長 学校からは、先ほどの報告書にもありましたように、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているという意見が多くございました。

○伊藤教育長 それは受け取りだから、生徒が使っていて、分かりやすく、理解しやすいと受け取っていいということなのかな。それは委員長としては言えないか。分かりました。

ほかに採択資料作成委員会についての質問等はございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、採択に向けて協議を進めてまいります。ご意見のある方、お願いいたします。

○武井委員 各社とも資料や写真をすごく多く使用されていたこともあって、生徒も興味を持って学習に励むことが予想されます。資料や写真が多くあるからこそ、こういった実在する場所について正しく理解できるのかなと感じました。

○伊藤教育長 武井委員としては、これで海老名が載っていたら即決めるのだよね。

○武井委員 そうですね。もうちょっと有名なものが欲しいですね。

○海野委員 帝国は資料や写真を豊富に使われていることから、充実していることが分かります。また、思考ツールを活用して、地理的な見方、考え方を学ばせることができるのではないかと思います。

○伊藤教育長 地理だったら、子どもたちが資料とか……。学校によっては資料集を別に購入するのですが、今は二次元コード等もあるので、かなり資料を広げることは可能なので、そういう意味では大きいですね。

○平井委員 小学校では社会科という1教科の中で、地理、歴史、公民を学びますが、小学校から中学に入ると、地理、歴史、公民と3つに分かれているので、子どもたちは科別に入るだろうと思っています。やはり小学校で学んだものが中学の地理、歴史、公民にスムーズにつながるようになっていくと、子どもたちも抵抗なく入れるのではないかなと思うので、そういう点ではどの会社も工夫がされているかなと思いますし、なかなかどれをとということでは悩んでしまうのですが、学校が使いやすい、学校が指導しやすいというものがいいのではないかなと思うのです。1年生は初めてですから、どのような教科書でも

いいということはありませんけれども、2年生、3年生で学んできたり、先生方が指導されていて、ふさわしいものがあれば、今後もそれを使用し、子どもたちの学びにもいいのではないかなと思います。

○伊藤教育長 社会科の地理分野は小学校5年生でやるのです。6年生になると、歴史、公民なので、そうであれば小学校からのつながりの部分で単元の扱いがあると、またちょっと違うかもしれないですね。

○濱田委員 先ほど質問させていただきましたように、学校からも、児童生徒も分かりやすいというような要件があることも踏まえまして、生徒の実態も考えまして、あれでしょうけれども、帝国がよろしいのではないかと私は思います。

○伊藤教育長 濱田委員から帝国推しの意見が出てきましたけれども、学校の意見としては使いやすいと言うのであれば、それはそれで尊重するのも1つではないかなということ、各社本当に……。もちろんこれは検定を通っていますから、どれを使っても文部科学省のお墨つきという言葉は変な表現ですけれども、大丈夫だということになっていますので、それに対して、市町村または子どもたちの実態に合ったものとか。または、教員の指導方法に合ったものというのも、我々が選択するときの1つの基準になっていいのかなとは思っています。

それでは、濱田委員が言ってしまったので、それを見て言いにくいような状況になってしまいましたけれども、採決いたします。よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 教科書目録順にまた読み上げます。中学校社会(地理的分野)、4者でございます。

(東書0票、教出0票、帝国5票、日文0票)

○伊藤教育長 最多の5票を得ました帝国を採択することに決定します。以上をもちまして「社会(地理的分野)」の採択についての審議を終了します。

続いて、中学校教科用図書「社会(歴史的分野)」の審議に入ります。発行者によっては全て見本本が届いていないところもありますので、もしよろしければ、教育委員さん方で置いてあるものをご覧いただきたいと思います。それでは、採択資料作成委員会からの報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 社会(歴史的分野)は、東書、教出、帝国、山川、日文、自由社、育鵬社、学び舎、令書の9者となります。報告書7ページ、8ページをご覧ください。報告内

容を読み上げさせていただきます。

東書は、学習指導要領第2章に示されている「社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力」に関連して、単元を貫く問い、各見開きの『学習課題』と『チェック&トライ』を通して、課題解決的な学習ができるように工夫がされている。また、各章の終結部には、ウェビング、ステップチャートといった多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する『まとめの活動』が設けられ、思考を整理できるように工夫がされている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教出は、特設ページに、地理・公民との関連を示す『関連マーク』を付して、学習の連携や振り返りを図り、学習内容を多面的・多角的に捉えなおすことができるように工夫されている。また、『歴史にアプローチ』のページでは、小学校での学習をふまえて、歴史学習の進め方や歴史的な見方・考え方を確認し、生徒が視点や方法を意識しながら学習できるよう配慮されている。学校からは、「社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

帝国は、各章に『タイムトラベル』という各時代の特色を詰め込んだイラストとそれに関連する課題が設定されており、見通しを持ったり他者と合わせて見方・考え方を働かせながら特色を考えたり、様々な観点で活用することができるよう工夫されている。また、『アクティブ歴史』では、課題解決学習が設定されており、対話を通して課題に粘り強く向き合う姿勢や、他者との意見交換を通して合意形成を目指す態度を身に付けられるよう工夫されている。学校からは、「課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

山川は、各章の冒頭に世界と日本の年表を上下に分けて示し、関連する資料が掲載され、日本の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に各時代の特色を踏まえて理解できるよう工夫されている。また、高等学校との接続への配慮として、高等学校の教科書の文体に慣れるため、「です・ます」調ではなく「である」調の表記になっており、日本史と世界史で基本的な色彩が分けられている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

日文は、導入部において、『歴史的な見方・考え方とは？』というページを設け、各単元の導入ページでは前後の時代と比較したり、その推移を読み取ったりすることができる資料を掲載し考えさせることで、歴史的な見方・考え方を働かせた学習をする工夫がされ

ている。また、教科書のほぼ全ての見開きページに二次元コードが記載されており、『ポートフォリオ』『イントロダクションムービー』『確認小テスト』などデジタルコンテンツが充実している。学校からは、「各内容の分量とその配分は適切である。」という意見が多くあった。

自由社は、各章の章末には『調べ学習のページ』が設定され、学習内容に関連する課題に対して、生徒が自ら感じた疑問を起点として探究し、学びを深めることができるように工夫されている。また、『外目の目から見た日本』や『時代の特徴を考えるページ』では、歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に多面的・多角的な視点で捉え、理解する力を育む内容で構成されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

育鵬社は、各章の始めに、その章で学習する時代の大きな流れを捉える『鳥の目』や、その時代を象徴する資料を取り上げる『虫の目』が設定され、章ごとの学習がスムーズに進むように工夫されている。また、『確認』『探究』『見方・考え方』『資料活用』『TRY!』といった問題解決型のページが準備されており、「主体的・対話的で深い学び」を意識した学習ができるように工夫されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

学び舎は、教育基本法第2条1項に示されている「幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める」ことに関連して、各章の最後に『歴史を体験する』項目が設けられ、体験活動を通して、当時の歴史的事象に思いを馳せることで、生徒自らが興味・関心をもって学びに向かう力を養うことができるよう工夫されている。また、世界に関する記述を充実させることで、共存や連帯の意識を生み出し、自国を主体的に認識する姿勢を培うことができるよう工夫されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

令書は、基本的内容に加えて豊富な情報量を通して、歴史の真理を追い求めることができるよう構成されている。また、従来の歴史区分に加えて、天皇の皇位継承図の掲載により、歴史の連続性を実感できるように工夫されている。さらに、判型をA5判とし、持ち運びやすくすることで、生徒が気軽に内容を確認し、学びを深めるようになっている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 9者ということで、どうもありがとうございます。それでは、ただいまの報告に対しましてご質問等ありましたらお願いいたします。

○濱田委員 最近、新聞報道等で教科書の歴史認識についていろいろ話題になったりしております、様々な指摘がなされたりもしておりますけれども、採択資料作成委員会においてその点についての説明等は何かありましたでしょうか。

○小宮委員長 歴史の認識についての説明等はございませんでした。

○伊藤教育長 調査員の調査の中では、そういうことでの調査というか、要するにそういう意味での、例えばこの内容の取扱がこうだということについての報告はなかったということによろしいですか。

○小宮委員長 認識そのものについての説明等はなかったという形になります。

○伊藤教育長 だから、ほかの教科書と同じように学習過程の設定の仕方とか、資料の扱いということで、子どもたちが学ぶのに学びやすさについては先ほど報告があるようにあった、各社様々な工夫がされていたことについては報告があったということだと思います。

○武井委員 各社とも生徒の生活と結びつけた内容になっているかというのが1つと、もう1つは、調査員からこのことについて各社報告があったかという2点について質問したいと思います。

○小宮委員長 先ほどの報告書にもありましたように、各社とも体験活動の充実を図るために、テーマについて調査をしたり体験したりする活動を設定しているという報告を受けました。また、生徒自らが興味関心を持って学びに向かう力を育むことができるよう工夫されているという説明もございました。

○海野委員 歴史の教科書についてはページ数が多いと思いますが、体裁や重量についての説明がありましたでしょうか。

○小宮委員長 重量そのものについて説明はありませんでしたが、令書については生徒が持ち運びしやすいよう、A5判のサイズを採用しているという説明がございました。ちなみに、その他の発行者についてはA B判、縦がBで、横がAというちょっと独特な判を採用しております。

○伊藤教育長 理科も案外そうだったけれども、歴史的分野もちょっと広めだったりするところですね。あと1個だけ、ここだけが小さい。でも、つながりがあるから、時代、時代になったら、そこだけを持ってやれたら軽くて済むのになと、思ったりは保護者として

はしますよね。

○平井委員 課題解決学習につながる取組や配慮について調査員から報告がありましたでしょうか。

○小宮委員長 課題解決学習ですが、東書では各見開きの学習課題とチェック&トライというものを取り入れているという報告がございました。また、帝国では、先ほどの報告書にもありましたが、『アクティブ歴史』を設定し、対話を通して課題に対して粘り強く向き合えるよう工夫されているという報告がございました。

○伊藤教育長 学習を進めるに当たってということで、今の紹介としては東書と帝国についてはそういう工夫があるというか、ほかも全てなっているのでしょうかけれども、調査員から報告があったということでございます。

ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、採択に向けての協議を進めてよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。ご意見のある方はお願いいたします。

○海野委員 令和6年度神奈川県教育委員会の教科用図書調査研究の結果を見ると、学校段階間の円滑な接続を実施するために、東書と帝国については小学校で学習した内容を振り返ってから学習活動を進めているという説明がありましたが、それはとてもいいなと思いました。

○伊藤教育長 東書と帝国、県の教科用図書調査研究の結果からなのですが、小学校での学習内容を振り返ってから学習活動に入るということで、先ほど地理のときに平井委員から小中のつながりについて話がありましたけれども、そのような扱いがあるということでございます。

○武井委員 山川なのですが、各章の冒頭に世界と日本の年表を上下に分けて、分かりやすく示してあって、日本の歴史のみならず、世界の歴史を背景に各時代の特色について考えることができるように構成されているなと思いました。そういったことから、高等学校への学習の系統化を考慮すると、世界に目を向けることも大切だなと感じました。

○伊藤教育長 武井委員から小学校と中学校を挙げられて、中学校で勉強して、その後、高校とのつながりも考えると、世界史等は高校段階ではかなり広く扱うこととなりますの

で、そういう意味では山川に工夫があるのではないかという意見がありました。

○濱田委員 私は東書の、生徒に学習への興味関心を持たせるため、導入部、展開部、終結部と構造化した学習の流れが非常に捉えやすくしているところが非常によいと思いました。

○伊藤教育長 東書は学習過程で、濱田委員が言うには、導入、展開、終結がすごく明確に分かれていて、子どもたちは勉強しやすい、学習過程がしっかりしているのではないかなという意見がございました。

それぞれ山川、東書、帝国等の意見が出されているところでございますけれども、平井委員はどうですか。

○平井委員 それぞれの教科書を見ていると目移りしてしまって、ああ、こういう風に、ここに余白があって、資料や写真を本当に豊富に取り入れて、子どもたちが本当に楽しく学習できるような工夫がされているのだなと思って見ていました。歴史については、小学校6年生で学ぶのですが、6年生になると、相当興味関心を持つ子とちょっと離れていく子がいるのですね。興味がある子は自分でいっぱい本を読んで、時代の違い、戦国時代の流れとか、いろいろな子どもたちがいる中で、まず、好き嫌いなく勉強してもらうには、楽しくというのがそこに関わってくると考えています。

その中で、私の目を引いたのは帝国のタイムトラベルなのですね。時代を眺めてみよう。小学校1年生などで国語の教科書、1ページの中にいろいろな絵があって、ここに何が入っているかな、といろいろなことを探しに行くのですが、楽しく勉強するのはとてもいいのかなと思うのです。2ページにわたって、例えば134、135ページに江戸時代の絵があるのですが、こういう絵があるとみんな一斉に、もう本当にわーっといろいろなものを探しに行って、子どもたちの興味は尽きないと思うのです。そういう中から子どもたちもまた、この時代はどうなのだろうというふうになんとか興味を持っていく。そういう関心を持たせるきっかけになっていくのではないかなと思うので、ここところが非常に興味をそそられましたし、子どもたちが課題解決していくにはいいのかなと思います。

○伊藤教育長 歴史的分野の教科書についてはここにあるように9者あって、皆さんにもご紹介したように、各団体というか、いろいろな考え方がいらっしゃって、その要望等も皆さんには複写して、お渡ししてあると思います。様々な考え方がいて、こういう教科書はいかがなものかとか、この歴史認識についてはどう考えるのかとか、記載されているところでございます。私のほうは、前回の歴史のときもそうだったのですけれど

も、子どもたちが様々な史実を基にフラットに自分で調べたり、探究したり、または友達と話し合っただけで日本の歴史を学習していく。その中で、子どもたち自らが自分の歴史認識を身につけていく。指導する先生たちの影響も時々あつたりするので、その辺を私は懸念するところがございますけれども、そういうものであると考えると、やはり子どもたちがこの教科書で学ぶのに学びやすかったり、興味関心を引ける、または学習過程が明確であることが教科書の役割としては大事なのかな。その辺でこれは判断するしかないのかなということで、今皆さんからの意見としてそれぞれの教科書会社についてコメントがあつたところがございますけれども、そういう中で皆さんでご判断いただければありがたいかなと思いますけれども、採決してもよろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○伊藤教育長 それでは、これまでと同様に、目録順に略称で発行者を読み上げますのでお願いします。

（東書1票、教出0票、帝国3票、山川1票、日文0票、自由社0票、育鵬社0票、学び舎0票、令書0票）

○伊藤教育長 最多の3票を得た帝国を採択することに決定します。よろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○伊藤教育長 それでは「社会（歴史的分野）」の採択についての審議を終了とします。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「社会（公民的分野）」の審議に入ります。6者でございますけれども、ありますでしょうか。それでは、採択資料作成委員会からの報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 社会（公民的分野）は、東書、教出、帝国、日文、自由社、育鵬社の6者となっております。報告書9ページ、10ページをご覧ください。報告内容を読み上げさせていただきます。

東書は、学習の過程に適宜「社会的な見方・考え方」を働かせるためのコーナーを設けており、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などに関連づけることができるよう工夫されている。また、導入、展開、まとめの学習段階に応じて必要な資料や動画の二次元コードが用意されており、「個別最適な学び」、「協働的な学び」を支える工夫がなされている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあつた。

教出は技能や表現力を磨く『公民の技』や、多面的・多角的な見方が身につく『公民の

窓』、資料への問いかけや活動を促す『THINK!』等、学習意欲が高まるコラム等が随所に設けられている。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが使用されており、多くの生徒が学びやすいように工夫されている。学校からは、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

帝国は、『未来に向けて よりよい社会を目指して』では持続可能な社会の実現に向けた意識を育むためにSDGsについてまとめたページが随所に掲載されている。また、実社会に興味をもたせ、考えることができるような題材が散りばめられており、それを通して合意形成をしながら、社会的な見方・考え方を働かせることができるような工夫がされている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

日文は、各章の導入ページでは、漫画を用いて生徒の関心を引き出し、身近な場面から『章の問い』を立て、『問の答えを予想する』といった見通しを持った学習がしやすくなっている。また、『アクティビティ』や『チャレンジ公民』など、見方・考え方を働かせて取り組むコーナーが効果的に組み込まれている。学校からは、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

自由社は、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛することを扱った内容が『家族愛・愛郷心から愛国心へ』などで取り扱われている。また、各ページに適度なスペースがあり、生徒にとって視覚的にも使いやすく、見やすいデザインで写真や図表などの資料が大きく掲載されており、資料を活用した活動に取り組みやすいレイアウトとなっている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

育鵬社は、現代の日本の特色に対して、生徒が生活目線で考え、判断し、考えを深め「他人事」ではなく「自分事」として現代社会をとらえる工夫がされている。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、『確認』『探究』『見方・考え方』『資料活用』『TRY!』『学習を深めよう』『やってみよう』などの言語活動の充実が図られている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの報告に対しましてご質問等ありましたらお願いいた

します。

○武井委員 SDGsに関する内容について調査員の方から何か説明はありましたか。

○小宮委員長 SDGsについては各社とも取り上げているところでございます。特に帝国の「未来に向けて よりよい社会を目指して」では、持続可能な社会の実現に向けた意識を育むためにSDGsについてまとめたページが掲載されていると調査員から説明がありました。

○伊藤教育長 各社扱われているのだけれども、帝国には1つあったという報告があったということでございます。

○海野委員 デジタルコンテンツについて説明はありましたでしょうか。

○小宮委員長 ほかの教科と同様に各社二次元コードを掲載し、1人1台端末で学習できるよう配慮されているという報告があったところです。東書については二次元コードの掲載位置が全て同じ、角のところという工夫がされていて、学習段階に応じて必要な資料や動画が用意されており、個別最適な学び、協働的な学びが実現できるよう構成されているという説明がございました。

○平井委員 主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫について調査員から説明がありましたでしょうか。

○小宮委員長 各社とも主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫をしているところでございますが、調査員からは、東書では学習の過程に適宜社会的な見方、考え方を働かせるためのコーナーを設け、育鵬社では言語活動の充実を図ることについて工夫されているという説明があったところです。

○伊藤教育長 現行の学習指導要領の1つのテーマとなる主体的・対話的で深い学びということで、公民という中ですと、子どもたちが学習する中で、知識を得るだけでなく、自分たちの社会をよりよくするために、課題を持ってみんなで意見を出し合っという、今我々がつくっている社会の作り方の勉強を教科書を基にやれるような形ですと出てくると、本当は学習活動としてはいい形になるのだろうなどは私も思いますけれども、報告についてはほかにはないですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、採択に向けて協議を進めていきたいと思っておりますので、ご意見ある方、お願いいたします。6者ということで、こうやって表紙を見ているだけでもそれぞれ本当に工夫があって、すごいなと思ったりはするのですけれども、どの観点で我々のほ

うでこれを判断していくかということについて、それぞれ意見がありましたらお願いいたします。どうでしょうか。

○平井委員 各社を見てみて、丁寧につくられているなと思いますし、本当に今、生活の中で毎日ニュースや新聞等でも流されている出来事が出てきて、基本的なものが網羅されているという意味では、本当に写真やイラストで子どもたちに分かりやすい教科書がつくられているのだなと思います。

○伊藤教育長 表紙をみただけで、様々な社会課題とか、全てうまく載っているのだよね。要するに、人権の問題とか、環境の問題とか、投票行動の姿も載っているわけだから。これを見ていると、大人が参加しなければいけないなと逆に思ったりする公民の教科書だったりするので。

○海野委員 帝国は単元最初の学習の前というコーナーがあって、実社会に興味を持たせるような工夫がされているな。そこでは、実生活との比較について考えたとき、社会的な考え方、見方を働かせるために必要であるのかなと思います。

○伊藤教育長 これは公民なので、3年生ぐらいで扱われると、子どもたちは自分たちの社会をよく見えていますものね。それが生活とつながって、いろいろな課題が出てくるわけだから、それが学習の前というコーナーで紹介されると、考えが深まるというか、いろいろな意見が出たりすることに結びつきますね。

海野委員から帝国のいいところの意見がありましたけれども、ほかにはいかがですか。

○武井委員 日文についてなのですけれども、各章の導入ページにおいて、漫画を用いて生徒の関心を引きつけるような感じにできています。見通しを持った学習が展開できるようになると感じました。

○伊藤教育長 表紙があれだから、子どもたちに……。ああ、こういう感じのやつか。漫画か何かで吹き出しがあって、それは子どもたちに身近というか、近いよね。分かりました。

武井委員から日文推しの意見が出されましたけれども、ほかにはいかがですか。

○濱田委員 公民の教科書をよく見てみると、18歳に引下げになった選挙権、成人年齢引下げの関係で、契約ができるとか、そういう変化があります。中学校の時代から社会で生きていく上で理解しておかなければいけない知識が多数出てくると思うのです。そういうところも、東書なのですけれども、18歳へのステップというようなコーナーがありまして、帝国でも18歳への準備というようなコーナーがあります。やはり中学生、卒業すると

すぐに高校生になり、そのような状況になりますので、早めにこういうことを理解させておくことが必要だなと思いました。

○伊藤教育長 濱田委員からは18歳、要するに成人年齢の引下げということで、海老名市でも成人式を二十歳の祝典に名称変更。子どもたちは投票ができる、要するに選挙権を得ることができたり、その分、契約か何かで様々な責任を負わなければいけないことにもなっていますので、そういう意味で比較すると、東書、帝国についてそのことがもう既に取り上げられていて、扱いがあるということですね。

でも、子どもたち、公民の時間で先生たちがどのような授業をなさるか、それぞれあるのですけれども、これだけのものならば大人としてももう1回これを読んで、勉強し直したほうがいいのではないかなと思うような内容。本当に社会人として基本的な行動とか、いろいろな課題解決のことがこれだけ書いてあるから、すごいなと思いますよね。勉強になりますよね。そうやって考えると、あとは子どもたちの学習にとってどれだけの資料がきちんとそろっているかとか、どういう観点について単元として扱っているかとか、そういうものが教科書の内容としては重要になるのかなと思います。

それぞれ意見があったので、ちょっと読めるのですけれども、採決してもよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、教科書目録順に発行者を読み上げますので、挙手をお願いします。

(東書3票、教出0票、帝国1票、日文1票、自由社0票、育鵬社0票)

○伊藤教育長 最多の3票を獲得しました東書を採択することに決定します。以上をもちまして「社会(公民的分野)」の採択についての審議を終了とします。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「地図」の審議に入ります。地図は2者ということで、前回、去年の小学校の採択のときも2者だったのですね。それでは、教科用図書採択資料作成委員会の報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 地図は、東書、帝国の2者です。報告書11ページをご覧ください。報告内容を読み上げさせていただきます。

東書は、各地域のページに『二次元コード』が掲載されているため、生徒が主体的に学べるように工夫されている。また、資料図が詳細に記されており、生徒が読み取りやすい

構成になっている。また、主要都市の鳥瞰図は建造物も詳細に記されていて、視覚的に捉えることができる工夫がされている。さらに、SDGsや災害・防災に関する資料が豊富に掲載されていて、総合的な学習の時間などの「探究的な学び」もサポートする工夫がなされている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

帝国は、世界の各州では、自然環境や生活、文化、産業などイラストを配した鳥瞰図があり、地域的特色を視覚的に捉えられるよう工夫されている。また、『Q地図で発見』では、地図の読み取りなどの地理的技能だけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習にも活用できるよう工夫されている。さらに、日本の一般図では、各地方の伝統や文化に関する地図や写真が掲載されており、伝統や文化の理解や継承と発展について考察できるように工夫されている。学校からは、「各内容の分量とその配分は適切である。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、委員長の報告に対するご質問等ありましたらお願いいたします。

○海野委員 帝国のQ地図で発見についてですが、調査員から具体的な説明はありましたでしょうか。

○小宮委員長 帝国のQ地図で発見とは、地図の読み取りなどの地図活用の技能が身につくだけでなく、社会的な見方、考え方を働かせて、全156問を追求する学習内容について示しているという説明がございました。Q地図で発見については通し番号とチェックボックスがあるので、達成感を得ることができるとのことでした。

○武井委員 生徒への配慮についてなのですけれども、インクルーシブ教育としての視点から何かそういった説明はあったのでしょうか。

○小宮委員長 確かに地図等はインクルーシブ教育の視点が大切だと思うのですが、調査員から特に説明はございませんでした。事務局からもしできたらお願いします。

○教育支援担当部長 令和6年度の神奈川県教育委員会の教科用図書調査研究の結果には、インクルーシブ教育という名称を使っただけの観点での報告はないのですが、生徒が読みやすく、理解しやすいような工夫や配慮という部分に、どちらの発行者においても、ユニバーサルデザインフォントを採用したりですとか、色覚特性に配慮した色遣いをしていて、工夫しているというような報告がありますので、これがインクルーシブ教育の視点の1つであると言えます。

○伊藤教育長 我々が子どもの頃の地図なんかを見ていると、色の具合は大きいよね。地図が目に飛び込んできて。いつも思うのだけれども、帝国って、小さいときからずっと同じものを見ているから、ずるいよね。我々から見ると、これが地図という感覚になってしまって、東書は東書で結構工夫して、いろいろなことをやっているのだけれども、ただ単純に地図を見た中で、武井委員も同じ年代か、もっと若いけれども、そんな感じがするでしょう。

○武井委員 見慣れている感じ。

○伊藤教育長 見慣れている感じがしてしまうよね。これはずるいというか、そのように単純に思ってしまう。だから、子どもたちがどう感じるかなと逆に思ったりもするから、大人の我々が見たら、濱田さんは我々と同じ年代ですから、地図帳といたらどちらですか。

○濱田委員 こちらですね。

○伊藤教育長 こちらだよ。そういう色遣いなのだよね。これはいかがなものか。でも、資料のつくりとしたり両方ともすごく……。子どもたちが地図帳を見て、人口とか、長い川とか、高い山とか、後ろの資料をいっぱい見て楽しむではないですか。そういう意味でいうと、結構東書なんかは工夫してあったりするんで、その辺がねというふうに私は思ったりしています。でも、私たちの責任で決定しなければいけないものですから、私たちが決めたいと思いますので、報告は受けたとおりでございます。どちらもそれぞれ工夫されて、子どもたちがそこから学習課題等が見つけられるように地図帳がつくられているという報告を受けたところでございますけれども、皆さん、どうですか。意見がおありなら出していただきたいのですけれども。

○武井委員 どちらの発行者も鳥瞰図が取り入れられておりまして、視覚的に捉えられるような工夫がよくできているなと思いました。

○伊藤教育長 地図帳というあれだけではなくてね。

○濱田委員 2者ともSDGsに関する関係や災害とか防災に関する資料が豊富に掲載されておりまして、防災関連教育に関連しているのは非常にいいなと感じました。両方ともいいと思います。

○伊藤教育長 でも、最後の様々なこういう太平洋プレートで自然災害のものとかが出ているというのは、前はなかったからね。作物はどこが一番取れるというのはあったのだけれども、自然災害について出されているのは今までになく新しいですし、写真とかも掲載

されていて、うーんというところですね。どちらかということですがけれども……。

○平井委員 各社とも写真、資料とも豊富ですし、どちらで学んでも子どもたちは楽しくできるのかなとは思いますが。「学校からは、『各内容の分量とその配分は適切である。』」というような意見が出ていますので、学校が指導していく分には帝国のほうがいいのかと思います。そして、小学校からのつなぎという形でも、各小学校、帝国を使っていると思うのですが、そういう部分では、子どもたちがスムーズに学びに入っていけるのではないかなと思うので、そこを考えると、系統的なものを選んでもいいのかなと思います。

○伊藤教育長 昨年度、小学校では帝国を採択していますので、そういう流れ、系統的にということですね。私、自分がいけないのでしょうかけれども、要するに色が……。だから、1回替えたほうがいいかなと時々思ったりもして……。そうでないと、ずっと……。

○平井委員 替えたら戸惑ってしまう。

○伊藤教育長 私は替えてもいいかなと思うのだけれども、まあ、いいや。そういうことで、また最後にいつもの平井委員が決め打ちで帝国がいいと言ってくれましたけれども、ほかには、皆さん、どうですか。濱田委員はどちらもいいのではないかなということですが、確かに私もそう思うのですよ。

○濱田委員 挙手は1回だけですか。

○伊藤教育長 駄目です。1回だけです。2回挙げては駄目です。いや、みんな2回挙げるなら——それでも決まらない場合があるか。では、やっぱり駄目だ。1回です。さっき最初に決めたではないですか。そのとおりでお願いします。1回でということ、これはしょうがないですね。

それでは、採決、よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 目録順に発行者を読み上げますので、挙手をお願いします。

(東書0票、帝国5票)

○伊藤教育長 最多の5票を得ました帝国を採択することに決定します。でも、2者のことなので、これからどのような形なのか……。海老名はずっと帝国で、流れで来ている。でも、その前の前ぐらいから東書は地図帳を出し始めて、いろいろ工夫されている中で、この辺は我々の見方と実際に見る子どもたちの見方があるので、採択資料作成委員会をお願いするわけではないし、今まで子どもたちに決めさせたこともないのだけれども、子ど

もは前の意識がないから、ひょっとしたらどちらが使いやすいかというのはあるかもしれないので、次回、小学校がまたありますけれども、そのときに期待するというか、地図帳についていろいろまた調べたり、協議したりしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

今は時間が残り10分なのですけれども、数学をやるとまた25分ぐらいかかりますので、これは、小林総務係長、我々告示するときに午後の始まりの時間も告示しているの。

○総務係長 時間はしていません。開始時間だけです。

○伊藤教育長 10時から開始だけなのか。でも、この時間だから、切りよく13時でいいかな。

それでは、ここで暫時休憩といたします。午後は数学からまた採択を進めたいと思います。13時開始としたいと思いますので、委員さん方、よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、これまでとして、午後の部は数学から13時開始といたします。以上、休憩といたします。暫時休憩。

(休 憩)

○伊藤教育長 それでは、休憩前に引き続き、教育委員会7月定例会を再開いたします。

中学校教科用図書「数学」の審議に入ります。採択資料作成委員会からの報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 数学は、東書、大日本、学図、教出、啓林館、数研、日文の7者です。報告書13ページ、14ページをご覧ください。報告内容を読み上げさせていただきます。

東書は、問いの中にSDGsに関する題材を取り上げたり、『数学×仕事』のコーナーで仕事の中で数学を活用している人を紹介したりするなど、かながわ教育ビジョン「社会とかわる力」を踏まえた教材配置となるように工夫がなされている。また、確実に身に付けたい基礎的・基本的な問題と、やや難易度の高い問題が『♡』『☆』のマークで明確にした上で用意されており、個に応じた学習ができるように工夫されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

大日本は、『考えよう』という既習学習内容との関連を重視した課題が設定され、生徒

の既存の知識を生かして問題に取り組ませるよう工夫されている。また、教科横断的な学習として、社会と関連した『海外に住む友だちと交流しよう』や理科と関連した『マグニチュードと地震のエネルギー』などが掲載されている。さらに、毎章に問題発見・問題解決の流れの4つのステップで課題が構成され、学習の取り組み方がわかりやすく表記されている。学校からは、「言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

学図は、かながわ教育ビジョン「社会にかかわる力」に関連して、章末の『活用』や『深めよう』、巻末での『さらなる数学へ』では、日常生活に生かせるものやSDGsに関連した内容を扱うことで、数学と社会とのつながりを実感できるよう工夫がされている。また、課題に対して、『Question』『目標』で明確に課題を設定し、『どんなことがわかったかな』で知識の定着の確認、『次の課題へ！』で学習内容が深まるような一連の流れで構成されている。学校からは、「各内容の分量とその配分は適切である。」という意見が多くあった。

教出は、学習指導要領で示されている「学びに向かう力・人間性等」の育成に向けて、数学の有用性が感じられるよう、実社会や生活などに関する話題を取り上げた章の導入ページや、数学が実社会で役立っていることを示している『数学しごと人』などが設けられている。また、「既習事項を根拠にして考える」「いろいろな事項と関連付けて考える」「いろいろな視点で考える」「いろいろな表現方法で考える」など算数から数学への広がりについて示しながら、数学的な見方・考え方を踏まえた教材配置となっている。学校からは、「各内容の分量とその配分は適切である。」という意見が多くあった。

啓林館は、学習指導要領に示された「思考力・判断力・表現力等」に関連して、『説明しよう』『話し合おう』『まとめよう』では、自分の考えを整理して伝えたり、他者の考えと自分の考えを比較したりしながら学習が進められるように工夫されている。また、デジタルコンテンツに補充問題や解説動画が用意されていて、家庭など学校外での学習活動においても考え方や答えを確認しながら自学自習に取り組めるよう工夫がされている。学校からは、「数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

数研は、各章の『TRY』では、生徒同士や先生の対話する場面が掲載されており、生徒のつまづきやすい箇所に気づかせる工夫がなされている。複数の考え方が提示されてお

り、様々な視点で課題をとらえることで、生徒が問題を解く手がかりを多角的に示している。また、各章の学習に入る前に関連する既習内容を掲載することで、生徒が既習内容を振り返り、定着しているか確認できるよう構成されている。また、各単元で学習する内容の関連を意識させる工夫がなされている。学校からは、「文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

日文は、生徒の興味を引くような写真やイラストが多く使われていたり、身近なことから数学の問題として解いていく過程が丁寧に掲載されたりするなど、学習指導要領に示された「数学的活動の楽しさ・よさ」が実感できるような工夫がされている。また、『次の章を学ぶ前に』という単元を設けていたり、導入の問題では『Q』、『確かめ』を設けていたりするなど、既習事項を確かめ、学び直しができる内容が散りばめられていて小中の連携を重視した構成になっている。学校からは、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの報告に対してのご質問等ありましたらお願いいたします。

○武井委員 採択資料作成委員会でどのようなことが話題になったかということをお話していただきたいと思います。

○小宮委員長 今回の報告書にも随所に出てまいりましたけれども、各社ともに学習に入る前に既習事項を確認して学び直しができるように工夫されているという話がありました。ほかの学習でもそうですが、数学においては既習事項を使って次の学習に取り組むことがとても大事と考えておりますので、そのようなことが話題になりました。また、学習したことを実生活に結びつけている内容が多く、社会と関わるような特徴があるという説明がございました。

○海野委員 数学は他教科と比べると、学ぶ内容の分量、配分が多いと考えますが、その点について説明はありましたか。

○小宮委員長 数学の調査員は数学の教員だということもあるかもしれませんが、他教科と比べてということでの調査員からの説明はありませんでしたが、学図と教出は各内容の分量とその配分は適切であるという学校からの意見ということでございました。

○伊藤教育長 でも、数学は分からないと止まるから、いっぱいあるような感じがするよね。自分で勉強するときだよ。すごく内容量があるのかなと思ってしまうよね。

○濱田委員 かながわ教育ビジョン「社会にかかわる力」というのがございますが、これに関連した説明は調査員からありましたでしょうか。

○小宮委員長 東書と学図についてはかながわ教育ビジョン「社会にかかわる力」を踏まえた教材配置となるよう工夫されているという説明がございました。また、東書は章末や巻末に日常生活に生かせるものやSDGsに関連した内容を扱い、数学と社会とのつながりが実感できるよう構成されているという説明がございました。

○伊藤教育長 子どもたち、中学生も、小学生も、全国学力・学習状況調査というのがあるって、その問題を見ると、数学なのだけれども、社会的な事象とか様々なことを数学の視点から解答していくというのがあるので、数学そのものの数式を解くということではなくて、そういう意味で社会生活と関連した内容で、数学を使って問題解決するという傾向があるので、子どもたちも逆にそういう力が必要になってくるかな。もちろん基礎的な力を基にするのだけれども、それ以上に、そういう社会的な問題を数学的に解決するような設定が結構なされているなど感じます。

ほかには採択資料作成委員会についてのご質問はよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、採択に向けて協議を進めてまいりたいと思います。数学でございます。各委員から意見等ありましたらお願いいたします。

○濱田委員 各発行者とも実生活と結びつけているようなところが非常によいと感じました。また、生徒の理解度によって様々な問題を設定しておりまして、それぞれ工夫しているところが良いと感じました。

○伊藤教育長 先ほどの実生活、意欲、問題点、学習過程の投げかけもすごく工夫されているなど感じるところでございます。

○海野委員 他教科との関連という部分においては、各発行者が工夫したことを生かして、深い学びにつなげていけるよう工夫されていると感じました。

○伊藤教育長 だから、他教科との関連の中で数学的なことで問題が解決できたりすることもありますから。理科の実験か何かをしていて、いろいろなデータが出てきたときに、その後、分析するのに数学の力が結構必要だったり、社会科のグラフの読み取りとか、そういう数式の中から問題を発見するときも数学的な力がすごく必要になってきますからね。そういう意味では本当に関連があると思います。

ここだと、藤原指導主事は中学校の数学の教員だよね。

○藤原指導主事 はい。

○伊藤教育長 自分で教科書を使って授業をしてきたわけでしょう。今は教育委員会の職員だけれども、教科書の使用についてはどんなことに気をつけてきたとか……。

○藤原指導主事 先ほどの話題にもあったように、実生活につながるというところで、例えば指導する上でこの学びがどこに生きてくるのかを生徒が少しでも実感しやすいようにというところは工夫しながら授業はしていました。

○伊藤教育長 子どもたち、問題が解けるとうれしいものなの。

○藤原指導主事 やっぱり1個1個解けるところで自信をつけて、次に、次にというふうになっていくのが、実際に授業をしていて、教科書を見ていて感じるところです。

○伊藤教育長 数学できない子どももいた……。でも、そういう子たちがいないような教科書になるといいなと思いますけれども。

小宮委員長は数学の教員だよ。数学の教科書という意味では自分ではどうでしたか。私見で結構ですので。

○小宮委員長 やっぱり途中で教科書が替わったときがあって、教科書によってそれぞれでしたけれども、新たな視点で、こういう扱い方をすると、子どもたちはこんなふうに生き生きするのだというのがよく分かったりして、ほかの教科書も研究したりというのは大事なことだなと思いました。

○伊藤教育長 ということは、教科書会社のあれによって、ある程度視点が変わるような教材の扱いをしているということかな。そういう意味では、海老名の子どもたちにとってこの中の教科書のどれがいいかということで、引き続きご意見のある方、お願いいたします。

○武井委員 ユニバーサルデザインの観点から、どの発行者も色覚特性に配慮されていて、文章が読みやすいように改行したりと、学びやすくなるように構成していると感じました。

○伊藤教育長 確かに数学の教科書は、ほかの社会とかではないけれども、文字がずっと来ないから、すごく見やすいよね。本当にすっきりしていると感じます。

ほかには何か……。平井委員がまだなのですからけれども、平井委員、数学について何かご意見ありましたら。

○平井委員 教科書を開いてみたときに、私、中学のときはこういう勉強をしてきたのに分からないところがいっぱいあって、改めて正の数、負の数などを勉強してしまいまし

た。各教科書会社、もう本当に分かりやすいのですよね。シンプルで、分かりやすく、基礎的な内容を、手順を踏んでつくってくださっている。この教科書を使ったら、子どもたちは本当に気軽に学習できるのだらうなと思っています。その中で私がいいと思ったのは学図なのですね。学図がいいのは単純なことなのです。教科書に余白をいっぱいつくっているのですね。普通の会社だったら、詰め込むだらうなと思うのですが、例えば3年生の60から61ページにルート計算があるのですが、こういうところの余白ってすごい余白なのですよ。もう1ページの半分を余白に取っているのですね。

○伊藤教育長 忘れたのではないの。

○平井委員 問題を解くとき、計算していると追い込まれるのですね。だから、ちょっと空間があって、目をやったときに、問題が詰まっていけないというのは子どもにとっては救われるし、私なんかもすごく救われるなと思って、教科書のつくりとしてはいろいろな思いがあるから詰め込みたいなという部分もあると思うのですが、やはり、そのあたりでこういう紙面をつくるというのも、子どもたちにとったら、教科書開けたら文字ばかりっていうのよりはいいのではないかな。内容的にはどの教科書会社も、本当にどこでも同じだなと思いますが、あえて私は学図で勉強したいなと思います。

○伊藤教育長 随分前の話だと思いますけれども、平井委員は学図で学びたいということでございます。前の教科書採択のときもいろいろな委員がいらっしゃって、表紙でばっと見て、どれが子どもたちは気に入るかなとか、どれが教科の特性を表しているかなということで、それもすごく重要な感じがする。そういう意味では、こうやって見ると学図の円の模様のシリーズはおしゃれというか、子どもたちの目を引くだらうなと思います。だから、そういうのも1つの面白みでもあります。

東書のやつも数学はつながっているよとか、クローバーの計算の教育出版のやつとか、それぞれ工夫されていて、いいなと思いますけれども、皆さん、どうですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 では、どこに挙手をするか、決まりましたか。いいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、各社とも本当に工夫されているという前提の基に数学の教科書を目録順に発行者を読み上げますので、挙手をお願いします。

(東書2票、大日本0票、学図3票、教出0票、啓林館0票、数研0票、日文0票)

○伊藤教育長 以上の結果、最多の3票を得ました学図を採択することに決定します。

「数学」の採択については審議を終了します。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「理科」の審議に入ります。今5者並んだのですけれども、これも表紙を見ただけでもすごいね。最初の東書の子どもの表紙は、最初、ひっくり返して置いていったのかなと思ったら、これが正しいのだね。面白いですね。それでは、採択資料作成委員会の報告を、小宮委員長、お願いします。

○小宮委員長 理科は、東書、大日本、学図、教出、啓林館の5者です。報告書15ページをご覧ください。報告内容を読み上げさせていただきます。

東書は、節内に掲載された解説付きの例題では、計算方法の詳細などが記載されており、生徒がつまずきやすい内容が理解しやすくなるような工夫がなされている。また、実験の操作手順の動画や、作図や計算の練習問題など、生徒が主体的に幅広い内容の学習に取り組めるデジタルコンテンツが利用できる二次元コードが掲載されている。学校からは、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

大日本は、『Science Press』『Professional』『くらしの中の理科』では、学んだことを日常生活や文化・伝統・歴史、科学技術、環境保全などにつなげて考え、幅広い視点をもてるように工夫がなされている。また、単元末のまとめや単元末問題で学習を振り返ることで、生徒が自分の答えと正答を照らし合わせて確認でき、主体的に学習を進められるようになっている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

学図は、既習事項の確認及び達成すべき目標が、単元の初めに掲載されており、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。また、紙面上部の二次元コードから閲覧できる『ミライ教科書』では、外国語への変換や文字の拡大縮小ができ、生徒の特性に合わせて使用できるよう工夫されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教出は、各単元で『これまでの学習』『学習前の私』『学習後の私』の項目が設けられ、生徒が体系的な知識を身に付けられ、さらに『ハローサイエンス』等の教材により学びを深めることができるようになっている。また、文字の大きさ、配色、二次元コードなど、様々な生徒の状況に配慮したつくりや、個別最適な学びにつながるような工夫がなさ

れている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

啓林館は、教育基本法第2条第1項に関連して、学習過程において、基礎的・基本的な知識・技能が定着するように工夫されている。また、基礎的・基本的な知識・技能を生かし『探Q実験』では様々な疑問を探究的に解決することを通して、真理を求める態度が育まれるよう配慮されている。また、他教科と関連する学習内容には、その教科が表示され、学びの広がりや深まりを感じられる工夫がされている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの報告についてご質問等ありましたらお願いいたします。

○海野委員 デジタルコンテンツについては調査員から報告はありましたか。

○小宮委員長 ございました。どの発行者も生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されていて、例えば教出は二次元コードがそれぞれのページの下部に記載されており、生徒が日頃から使いやすいよう配慮されているとの報告がございました。また、大日本は、生徒が学習内容をイメージできるよう、器具の基本操作とか様々な事象等をウェブコンテンツ上に用意し、確認できるようになっているとの報告がございました。

○濱田委員 デジタルコンテンツも確かに非常に分かりやすく、よろしいかと思いますが、それ以外で主体的に学習するための工夫が何かありましたら教えていただきたいと思っています。

○小宮委員長 主体的に学習するためにデジタルコンテンツを使用することも大切ですが、生徒が見通しを持って学習できるよう科学的な探究の過程を示したり、巻末の補充資料を充実させたりするなど、どの教科書も工夫しているという説明がございました。

○伊藤教育長 どの教科書も工夫はされているということです。デジタルコンテンツについては、教出、大日本のコメントが出されましたけれども、どの教科書もデジタルコンテンツを使えるようになっているとか、工夫されているということでございますけれども、ほかにはいかがですか。

○武井委員 先ほどおっしゃっていた探究的な学習についてなのですが、そういったことは調査員からどのような報告があったか、教えていただきたいと思っています。

○小宮委員長 探究的な学習についてですが、啓林館の探Q実験というコーナーでは、基

礎的・基本的な知識、技能を生かして様々な疑問を探究的に解決できることができるように構成されているという説明がございました。そして、実験を通して、真理を求める態度が育まれるよう工夫されているという話がございました。

○伊藤教育長 今のは啓林館のことについてということですね。

○小宮委員長 はい。

○伊藤教育長 報告があったということですね。分かりました。

理科、様々な教科もそうだけれども、探究的な学習というのは1つのポイントになるのかなと思っていますので、そういう中で子どもたちがいろいろな自然現象とか、実験した科学の事象とか、変化とかなのかに対して、どのように探究的に解決を進めていくのが理科の1つの面白さというか、魅力でもあるのかなとは思っています。

ほかに報告についてのご質問はいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、このような状況で採択資料作成委員会の報告がありましたけれども、我々として採択に向けての協議を進めてまいりたいと思います。それでは、ご意見ある方はお願いいたします。

○平井委員 表紙を見ているだけで、読みたくなってくるつくりだなと思います。本市でも最近外国につながる生徒が多く在籍してきていますので、そういう子どもたちにとっても外国語への変換やプレ設定ができるような工夫がされている二次元コードも必要かなと思っています。私としては学図がいいかなと。どの教科書もいいのですが、私は学図がいいかなと思います。それは、学びが見開きで構成されているのですが、常に左手に内容、項目が入っていて、その2ページを使って学習が広げられるというつくりが理科の場合は必要ではないかな。課題ページがあって、そこに手順があって、結果は次のページを見ても、ある程度実験の動画がその2ページの中に入り込んでいるというのは指導する側からもいいかなと思いますし、子どもたちも見やすいのではないかなというところから、学図を使った学習が子どもたちは学びやすいかなと思います。

○海野委員 東書と啓林館は、生徒がつまずきやすい部分についても理解できるよう工夫していると思いました。例えば割り算の使い方などに関して、数学とも関連づけて学びをしていけるよう配慮されているなと思いました。

○伊藤教育長 生徒のつまずき、さっきの数学の計算とかも、そこで学び直せるような配慮がされているということですね。

○濱田委員 小中学校の円滑な接続という面から、どの発行者の教科書も小学校までの学習を振り返ってから学習を展開しているところが非常にいいなと思いました。

○伊藤教育長 先ほどから中学校の教科書で話題になっている小中学校のつながりという意味で、どの教科書もそれは配慮されているということですね。

今、平井委員が学図推しですけれども、ほかに皆さんから何かありますか。

○武井委員 理科の学習は、探究的な学習を重視してほしいと思っております。このことから、探究的な学習を通して真理を求める態度を育むことを意識している啓林館がよいのではないかと感じております。

○伊藤教育長 武井委員からは啓林館の教科書の特徴についていいのではないかというご意見でございますけれども、さすがにうちの指導主事に中学校の理科の教員はいないよね。

どうですか、意見としてはよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 では、どこに挙手するか、決めましたか。まだちょっと教科書を見て悩んでいる方もいらっしゃるかもしれませんが。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、せっついていてみたいで申し訳ないですけれども、私も進めなければいけないので、理科の教科書について採決を行いたいと思います。教科書目録順に発行者を読み上げますので、挙手をお願いします。

(東書0票、大日本0票、学図1票、教出0票、啓林館4票)

○伊藤教育長 それでは、以上の結果、最多の4票を得ました啓林館を採択することに決定します。「理科」の採択についての審議を終了します。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「音楽（一般）」の審議に入ります。音楽（一般）は2者です。前回は教出と教芸の2者だったような気がしますけれども、それでは審議を進めます。採択資料作成委員会からの報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 音楽（一般）は、教出、教芸の2者です。報告書17ページをご覧ください。報告内容を読み上げさせていただきます。

教出は、学習題材の系統表である『学習MAP』では、歌唱・鑑賞・創作の順に分野ごとに色分けして、さらに題材ごとに育成を目指す資質・能力が明確に示されており、どのよ

うに学んでいくのか、見通しを持てるよう工夫されている。また、題材ごとに活動のポイントが示されており、学習の見通しがもてるよう工夫されている。学校からは、「「A 表現」や「B 鑑賞」の教材は、学習を積み重ねていくことができるよう、系統的、発展的に配列されている。」という意見が多くあった。

教芸は、鑑賞教材において標題音楽・絶対音楽・情景との結びつき・楽曲の構成について体系的に学ぶことができ、音楽そのものの理解を深めることができる。また、日本の伝統芸能の学習を通して、雅楽や歌舞伎など伝統や文化について理解を深めることができる。また、諸民族の音楽やポピュラー音楽の学習により、文化の多様性への理解を深められるよう工夫されている。学校からは、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、今の採択資料作成委員会の報告についてご質問のある方、お願いいたします。

○濱田委員 採択資料作成委員会でいろいろと報告に基づいて資料をつくっていただいているのですが、それ以外に何かこの2者について話題となったものがありましたら教えてください。

○小宮委員長 報告書以外の部分でということですが、いずれの発行者も主体的・対話的で深い学びに向けてワークシートや二次元コード等を活用して、個別最適な学び、協働的な学びを実現できるよう工夫しているという話がありました。また、教科横断的な学習を考慮して、他教科との関連を意識したつくりになっているという説明もございました。

○海野委員 デジタルコンテンツについて説明はありましたか。

○小宮委員長 ございました。教出は、二次元コードからアクセスする『まなびリンク』の活用について説明がありました。教芸はデジタルコンテンツの活用として、視覚的に捉えることや楽器の音色等に触れることができるよう工夫されているという説明がございました。

○伊藤教育長 楽器の音色もそこで聴くことができるような形で進められているものがあるということですね。

ほかに採択資料作成委員会の報告について質問等はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 2つということなので、表紙を見ると、ちょっと教育出版のほうがおしゃ

れだよ。教芸のやつは漫画チックで、ちょっとというふうな……。これはもう表紙だけです。でも、開けてみてやると、1年生のだけを見ても、教育出版はピアニストか何かのものがあって、本当に音楽そのものにすごく興味が持てるというか、広がりみたいなものがあって、教芸ですと、最初のときは上白石さんという女優の方がぱっと出てきて。だから、初めて見たら、すごく親近感があったり、音楽に対する深まりを感じたりするので、両方とも写真とかがすごく上手だよ。去年、小学校の採択のとき、文部省唱歌ではなくても、歌の紹介が1枚全部写真か何かでどんと出たら、子どもたちはこれを見ただけで歌の気持ちが広がるとあったけれども、中学校も新しいやつは様々な写真とか、すごいですね。本当によくつくってあるわ。すごいなと思いました。

それでは、協議というか、皆さんのご意見を聞きたいと思うのですけれども、2つに1つというのは言葉が変ですけれども、どちらかということなので、皆さん、見ていただいて、ご意見があれば。これまでも皆さんと共に勉強会を何回か開いたんですけれども、意見を聞かせていただきたいと思います。

○濱田委員 各発行者、両方とも伝統や文化に関する教育に向けて、伝統音楽が多数掲載されています。特に教芸につきましては諸民族の音楽や沖縄音楽の学習によりまして、文化の違いというか、文化の理解を感じられると考えています。

○武井委員 教出なのですけれども、生徒が見通しを持って学習できるように、学習題材の学習マップが掲載されています。題材ごとに育成すべき資質とか能力が示されているので、生徒、教師とも、両方分かりやすいようになっているなと感じました。

○伊藤教育長 武井委員からは、今ある学習マップ等によって、生徒たちにとって学習について分かりやすいのではないかとということがありました。ほかにはいかがでしょうか。

○平井委員 2者とも合唱、演奏など幅広い分野で、丁寧に分かりやすい内容で構成してくださっているなと思いました。どちらの教科書も指導すべき必要な内容は盛り込まれているのですが、それをできるだけ具体的に取上げているか、丁寧な説明がされているかということで少し見てみたのです。教芸は、旋律づくりが具体的に本当に丁寧に説明がしてあります。変声期に関しても、とても分かりやすい説明をいただいています。特に海老名は合唱が盛んですから、そういう部分でも子どもたちにとって大きなものになっているというか、変声期を迎える子どもたちにとってはとても分かりやすいものではないかなと思いました。

それに関連して、最近、著作権の問題も出てきています。その著作権についても、両者

取り上げられていますが、教芸は多分1年生から著作権を扱ってくださっているのですね。1年生も合唱祭に入りますので、いろいろな機器を使ったり、いろいろな形で楽譜を使ったりする中では、やはり早いうちからそういうものを知らせていく必要があるのではないかなと思いますので、教芸を使って指導していただけたらいいのかなと思っています。

○伊藤教育長 平井委員から、著作権に関する内容について、教芸は第1学年からきちんと扱っているのではないかという話がありました。ほかにはいかがですか。音楽の先生はいないよね。

○海野委員 音楽は音を楽しむと書きますし、子どもたちには楽しく学んでほしいと思っています。学校からの生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているという意見がありますが、楽しく学び、よく理解できるように、生徒の実態を考慮すると教芸がいいのではないかなと思いました。

○伊藤教育長 先ほど報告の中で、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫が教芸についてはなされているという視点での意見が学校から多く出されたということで、海野委員はそのほうがいいのではないのかなということですね。分かりました。

それでは、音楽（一般）について採決を行いたいと思いますけれども、よろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○伊藤教育長 目録順です。

（教出1票、教芸4票）

○伊藤教育長 以上の結果、最多の4票を得ました教芸を採択することに決定します。「音楽（一般）」の採択についての審議を終了とします。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「音楽（器楽合奏）」の審議に入ります。それでは、採択資料作成委員会からの報告を小宮委員長にお願いします。

○小宮委員長 音楽（器楽合奏）も、教出、教芸の2者です。報告書19ページをご覧ください。報告内容を読み上げます。

教出は、音楽（一般）教科書の鑑賞教材と関連している楽曲が多数掲載されており、より深い学びになるように構成されている。また、ページ上部に題材や活動のポイントが配置され、音楽的な見方・考え方を働かせ、知識及び技能の習得につながるように構成され

ている。学校からは、「表現及び鑑賞の基礎的な能力を養うために、〔共通事項〕をよりどころとして、主体的・協働的な学習の展開が図られるような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教芸は、アルトリコーダーの学習では、運指やアンサンブルの面で段階的・発展的に学習に取り組めるよう構成が工夫されている。また、バンドスコアの掲載や耳なじみのある曲のアンサンブル、音楽（一般）の教科書で扱われている鑑賞教材を楽器で演奏するなど、生徒の関心を高めるための工夫が施されている。学校からは、「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、採択資料作成委員会の報告に対するご質問のある方はお願いいたします。

これも2つなのですけれども、表紙は教出のほうがおしゃれだよね。

○平井委員 器楽における運指について調査員から説明がありましたか。

○小宮委員長 運指についてですが、教芸については、アルトリコーダーの学習時に運指について、段階的、発展的に学習に取り組めるよう構成されているという説明がございました。

○伊藤教育長 教芸のほうはそういう説明が調査員からあったということでございます。

○濱田委員 2者の教科書の楽曲に関する説明があったら教えてください。

○小宮委員長 教出、教芸ともに、音楽（一般）の教科書の鑑賞教材と関連している楽曲が多数掲載されているという説明がございました。また、耳なじみのある曲を採用し、生徒が興味関心を持って演奏できるよう工夫されているとの説明もございました。

○伊藤教育長 今の質問でいうと、音楽（一般）の教科書に掲載されているということで、では、例えば音楽（一般）がこの会社ならば、音楽（器楽合奏）もこの会社のほうが効果的であるという意見はなかったのですか。

○小宮委員長 あくまでも調査員の主観として、やっぱり違うと、いろいろなところで難しいのではないかという意見は確かにございました。

○伊藤教育長 主観的にはあったということね。

○小宮委員長 はい。

○伊藤教育長 そういうことですがすけれども、それでは、皆さんの意見を伺わせてもらっても大丈夫ですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○伊藤教育長 では、委員さん方の意見を聞かせていただきたいと思います。

○濱田委員 教芸なのですけれども、豊富なデジタルコンテンツを取り入れていると思います。また、学習内容に応じて、役立つ様々なコンテンツがあることにより、個別最適な学びを実現できるよう工夫されているのではないかと感じました。

○伊藤教育長 さっきの書写のときもそうなのですけれども、デジタルコンテンツだったら1対1で、自分でそれを見て、自分のペースでやれるわけで、全員一斉に、小学校3年生で最初にやる笛とは違うので、変な話、自分で時間があつたときにそれを見ながら練習できる、取り組めるという学びが可能になるのだろうなということで濱田委員からありました。

○武井委員 私はまた教出なのですけれども、その中で表現の仕方を調べてみようというのがありまして、音楽的な見方とか考え方を働かせて楽器の特徴について学習するというページなのですけれども、着目すべき視点が明確なために、生徒にとっても分かりやすく、根気強く取り組めるのかなと感じました。

○海野委員 教芸は、身に着けるべき資質、能力を一目で判断できるように学習内容を分かりやすく整理して示しています。生徒にとっても、自分がどのような力を身につけていくのか、見通しが持ちやすいと思います。

○伊藤教育長 それぞれのよさがあるのですよね。

○平井委員 器楽と合奏という2つの教科書になっているだけあって、やはり2者とも細かく、丁寧に写真を入れて、本当にすばらしい教科書づくりをしてくださっているなと思います。子どもたちも教科書を見て、ちょっと読むなり、写真を見たりして、分かりやすいなというところがどれだけ細かく載っているかなというところを見させていただいてもほとんど変わりはないですから、ギター奏法などは教出のほうが分かりやすく、丁寧に写真入りで載せてあります。打楽器の奏法については、いろいろな種類の楽器を掲載して、子どもたちに演奏してみたいという意欲づけをしているのは教芸だなと思います。本当にどちらを使っても、どちらで指導してもというところがいろいろあると思うのですが、私は先ほど音楽（一般）も教芸を採択しましたので、その点からいって、同じもののほうが学校としては指導しやすいのかなと思いますので、教芸の教科書を使っていったらいいのかなと思います。

○伊藤教育長 様々な学習指導要領上の考え方もあるのですけれども、中学校音楽は、分けなくて、1つにしてくれればいいのにと思ったりもします。

それでは、採決したいと思いますけれども、よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 目録順に発行者を読み上げます。

(教出1票、教芸4票)

○伊藤教育長 最多の4票を得ました教芸を採択することに決定します。「音楽(器楽合奏)」の採択についての審議を終えます。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「美術」の審議に入ります。3者ということでございます。美術はみんな大判というか、大きめの教科書で出ていて、中身はすごく美術らしいというか、すてきな表紙だなと思うところがございます。開隆堂が2冊になっていて、光村が2冊と資料が別冊になっていて、日文が3冊の構成になっているということでございます。それでは、採択資料作成委員会の報告を小宮委員長からお願いいたします。

○小宮委員長 美術は、開隆堂、光村、日文の3者です。報告書21ページの報告内容を読み上げさせていただきます。

開隆堂は、『扉のページ』では、各学習活動の意味や目的など、学習に向かう姿勢が考えられるよう設定されている。また、活動内容の色分けや、題材ページのタイトルにも学習活動が明確になるように工夫されている。また、原寸大の作品紹介等、見開きで題材の世界観を凝縮した紙面構成など、細かな鑑賞活動が行える工夫がある。さらに、題材紙面に適宜設けられたコラムではSDGsとともに、題材内容とかかわる造形的な取り組みや作品が紹介され、美術の学習と具体的に関連付けて学習できるよう配慮されている。学校からは、「「A表現」と「B鑑賞」の領域、及び、〔共通事項〕の学習内容を、相互に関連させながら取り扱うような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

光村は、他教科とのつながりを意識した内容が取り扱われ、表現と鑑賞の広がりをもたせ心豊かにするため、詩や文章表現などの工夫がされている。また、『鑑賞』『表現 発想・構想』という流れで構成されており、生徒が授業に見通しをもつための工夫がされている。さらに、SDGsの目標も番号で表記され、美術との関連が分かりやすく示されている。そのため、美術の学びが持続可能な社会で果たす役割について考えられるよう配慮されている。学校からは、「生徒が自ら造形的な見方・考え方を働かせながら、表現したり鑑賞したりして、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わることができるような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

日文は、冒頭のオリエンテーションでは、自分らしさを表現する大切さを伝え、美術との出会い、実感・深まり、探究へと3年間の学習で学びを深め、見通しをもつことができるよう工夫されている。また、各単元の学びの目標のアイコン化や色分けを行うことで、すべての生徒が視覚的に情報を判断できるように工夫されている。さらに、『屏風、美の仕掛け』では、実際に教科書を折り立たせることで、平面での鑑賞では難しかった実際の印象に近い屏風の鑑賞が行えるよう工夫されている。学校からは、「文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それではまず、採択資料作成委員会についての報告に対する質問等ありましたらお願いいたします。

○平井委員 採択資料作成委員会ではどんなことが話題になりましたか。

○小宮委員長 どの発行者も3年間の学習の見通しを持たせるための工夫が図られているという話がありました。また、学習活動が明確になるよう活動内容の色分けであるとか、学びの目標をアイコン化するなどの工夫が見られるという報告がありました。

○伊藤教育長 様々アイコン等があるのだけれども、掲載されている作品に圧倒されるよね。

○武井委員 面白いですね。

○伊藤教育長 子どもたちの学習の仕方よりも、これ自体に目が行ってしまうよね。すごいな、これ。開隆堂のでこぼこ感、触るとすごいな。よく、これ、つくったな。

○濱田委員 光村の教科書には資料編につくってみようというページがあるのですけれども、これについて調査委員から何か説明がありましたでしょうか。

○小宮委員長 別冊の資料集についてですが、光村の資料は基本的な用具の使い方や技法について分かりやすく掲載されていて、美術に苦手意識のある生徒も無理なく取り組める配慮がされているという説明がありました。

○伊藤教育長 これは、描く、つくる、写真とか映像、色の基礎的なあれとかが入っているのかな。小刀で削るとか、のこぎりで切るとかあるね。粘土もそうだ。別冊があるとなくしてしまうのではないかという心配が結構あったけれども、中学生はなくさないか。小学生だと、ついていると、どこかに行ってしまったとかで、授業を始める前の用意するのに大変なことがあるのだけれども、中学生はそんなことはないかな。まあ、いいです。

前回の中学校教科用図書採択のときに、日文の作品紹介の写真にすごく驚かされました

ね。そうしたら、今度は、この表紙もそうだけれども、こういう見開きがどこの会社でもこんなですよ。子どもはびっくりしてしまうと思うな。これはすごいインパクトだよ。これがどこの教科書にも載っているのだよな。いや、これは考える人も大変だろうなと思って。すごいよね。光村もそうなのだよ。これなんかは和紙か何かのページがある。光村は和紙か何か、教出はゲルニカのこれ、ピカソー一枚だものね。いや、すごいな。日文は屏風か何かと言ったっけ。何年生なのだろう。

○濱田委員 1年生……。

○伊藤教育長 1年生……。これか……。

○濱田委員 「風神雷神図屏風」。

○伊藤教育長 これが屏風があったときみたいに置けるということだよ。

○濱田委員 立てたら。

○伊藤教育長 すごいな、教科書。傍聴の人に聞くわけにいかないからあれだけれども、写真を選んできたり、これを載せるというのは結構大変なことだよ。いや、すごいな。

でも、我々は決めなければいけないので、6中学校あるから、2つずつぐらいに使ってもらおうかなと思ったり。それぐらいの気持ちになる。だって、すご過ぎないですか。どこの教科書もそのように子どもたちがインパクトを受けられるものを工夫して題材に取り上げて、これだけの画面で写真として示されているのはすごいことだな。子どもはびっくりするだろうね。実際の美術の授業がどうかというはあれだけれども、教科書はすごくいい感じだよ。困ったな。認定するのだよ、これ。だって、これなんて、横から見ると教科書の表紙がでこぼこに見えるのだよ。どうしてしまったのと思うくらい。

でも、採択は1種決めるという約束ですので、ご意見をお伺いします。

○濱田委員 先ほど質問したのですけれども、光村が資料について、基本的なものについては分かりやすく掲載していることもありまして、生徒にとっては扱いやすいなと思います。また、軽量ですので、持ち運びもしやすいのではないかと考えました。

○伊藤教育長 先ほど質問したつくってみよう 見てみようという資料のことですね。

○平井委員 何しろ3者ともすばらしいので、今回もう本当に私は感動しました。本当にすばらしいです。まず、開隆堂の表紙には驚きました。こんなことが教科書であるのだと……。

○伊藤教育長 そうですよ。今までにないよね。

○平井委員 さすが美術だなと思いましたし、光村はまた今までと特色を変えて、もう別

冊という形で最新のつくりを入れてきたのが非常に大きいのかなと思います。

日文は、私は、掲載されている作品がすごく斬新だと思うのです。今まで取り上げなかった作品をいっぱい載せ込んでいるという、ここは今までの美術の中の作品とはちょっと違うかなという感じがしています。子どもたちが今まで見たことがないような作品をいっぱい載せ込んでいるので、ここらあたりは子どもたちがどのように関心を持って見ていくのかなというところがありますし、私も非常に引きつけられた教科書です。そして、観賞作品が先ほど出ていますけれども、本を立てて見られるというね、これはどこの会社も工夫に工夫を重ねてつくってくださっているのだなと思いました。

本当に今回の美術はどこの会社もすばらしくて、ちょっと悩んでいます、私なりに決定したいと思います。

○海野委員 開隆堂は原寸大の作品紹介が多く、小さい図版では気づきにくい、細かい表現まで見て取ることができます。生徒にとっては興味関心を高められる構成になっていると感じました。

○伊藤教育長 本当に開隆堂、最初のやつ、こう開いてさ……。子どもたちは新海さんのアニメのあれなんかはすごく驚くだろうね。子どもにとってはすごくキャッチーな、引きつけられる内容だよ。

○武井委員 私は光村なのですが、防災デザインに関する内容がありまして、実用性とデザイン性を考えることで防災への意識を高められるように構成しているところがよいなと思いました。

○伊藤教育長 デザインとか、もう既に社会の中ですごく生かされて、建物はもちろんだけれども、いろいろな表示もそれによって目に留まりやすかったりする、また、色遣いとか、形とか、そういうデザイン性、実用性が大きいものね。いろいろな視点があるのだろうなと思います。

実は私はもう決めましたので、これは前振りなしに3者読み上げますので、それぞれ手を挙げてください。

(開隆堂1票、光村3票、日文1票)

○伊藤教育長 全て分かれましたが、私がどこかに移動すると決選投票になるのであれなのですが、以上の結果、最多の3票を得ました光村を今回は採択することにします。「美術」の採択についての審議を終了とします。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「保健体育」の審議に入ります。それでは、採択資料作成委員会からの報告を、小宮委員長、お願いいたします。

○小宮委員長 保健体育は、東書、大日本、大修館、学研の4者です。報告書23ページを読み上げさせていただきます。

東書は、教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連して『見つける』『学習課題』『課題の解決』『広げる』のステップが学習の流れに沿って配置されており、主体的・対話的で深い学びを通して幅広い知識と教養を身に付けられるよう配慮されている。また、学習課題の共有や実感を伴った理解などを目的として、質の高い動画やシミュレーション、思考ツール、章末問題など、さまざまな学習場面で活用できるデジタルコンテンツが豊富に用意されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

大日本は、教育基本法第2条第1項に示された「幅広い知識と教養」に関連して、小単元ごとに『学習のねらい』から『活用して深めよう』までの課題解決型学習によって自ずと保健及び体育に関する知識を身に付けることができるようになっている。また、『ミニ知識』や『トピックス』など多様な資料が掲載されており、個に応じた学習を深めることができるように配慮されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

大修館は、教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連し、各章のはじめに『章とびら』、気づきや思考を促す『課題をつかむ』、能力の育成・定着を図る『学習のまとめ』を設け、課題解決の過程を重視した構成となっている。4つのデジタルコンテンツ『動画コンテンツ』『Web保体情報館』『Webワークシート』『保体クイズにトライ！』が用意され、ICTを活用した授業のための配慮がされている。学校からは、「イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなど信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

学研は、教育基本法第2条第1項に示されている「幅広い知識と教養」に関連して、保健体育の学びがウェルビーイングの向上につながるように、学びを活用する問いかけや、章の冒頭で学習内容に関連した人物や事柄の紹介がされている。また、生徒の興味・関心に応じて、より深い学びに結び付けられるよう、各章末に『探究しようよ』、各学年末に

『学習の終わりに』を設定し、振り返りや今後の学習につなげられるよう工夫されている。学校からは、「文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの報告に対してご質問等ありましたらお願いいたします。

○濱田委員 課題解決につながる工夫や配慮について調査員から説明はありましたでしょうか。

○小宮委員長 どの発行者についても、保健及び体育に関する知識を正しく身につけることができるように課題解決学習を取り入れているという報告がございました。

○伊藤教育長 4者ありますけれども、どの学習過程というか、学びの中でも課題解決学習を取り入れているということでございます。

○平井委員 デジタルコンテンツについて調査員から説明はありましたか。

○小宮委員長 デジタルコンテンツについては、二次元コードから動画や写真を豊富に見ることができるよう工夫されております。特に東書では、質の高い動画やシミュレーション、思考ツール、章末問題など様々な学習場面で活用できるデジタルコンテンツが豊富に用意されているとの説明がございました。

○伊藤教育長 調査員の報告では、東書のほうが様々なコンテンツが用意されているという報告があったということでございます。

中学校の保健体育、体育科の学習の中で扱いはどれぐらいの時間だったのだけ。指導主事たちでも誰か、中学校の体育科での保健体育の扱いについて、学習指導要領、昔は雨が降ったら保健とかだったのですけれども、私たちがやっていたときは……。

○藤原指導主事 年間授業時数は各学年年間105時間という形で設定しております。

○小宮委員長 それは体育。

○藤原指導主事 そうです。

○伊藤教育長 それは体育の時間だね。その中で保健はどれぐらい扱うかということですか。雨が降ったらですか。

○小宮委員長 多分20時間ぐらい……。

○伊藤教育長 多分20時間ぐらいのめど、扱いで進めるということで、学校サイドで話があると思うのよね。だから、この教科書を使って、内容量としては本当にいっぱいあるのですけれども、その時間がどれだけ授業の中で取れるかと考えたときには、どの教科書

がそういう中でふさわしいのかなというのも1つなのかなと思います。

採択資料作成委員会の報告への質問はよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 では、皆さん、どのような感じがいいかなということで……。子どもたちにとっては、この教科書を見て様々考えると、資料が充実しているのはある意味ではすごくいいのかなとは思いますが、我々がなったときの体育学習そのものの保健ということだけでなく、健康とか、環境とか、様々な課題が取り扱われているので、本当に幅広いのかなと思いますので、この学習内容の中でどう進めていくかというのも1つの課題になるかなと思っています。

○海野委員 各発行者の表紙や資料、イラストからは、多様性を尊重する姿勢が伝わってきました。

○伊藤教育長 そうですね。多様性というか、様々な人たちがいて、社会生活が成り立っているのだというイメージをするような表紙ですね。車椅子に乗っている子がいたり、ご高齢の方が道を散歩していたり、様々な工夫をされていますね。パラリンピックとか陸上の選手が掲載されていますね。

○武井委員 学研についてなのですけども、ウェルビーイングの意識を向上することに加えて、教科書として日本人の健康に対する意識を高めるよう構成されているところがすごくいいなと思います。

○伊藤教育長 武井委員からは、ウェルビーイングということで、健康の意識を高めるようなことで、学研の教科書は効果的ではないかという意見がありました。

でも、心理的な心の発達とか、自己形成とか、そういうことも保健の中に入っているのだよね。昔は健康だと、その頃の子どもたちがどうだったか知らないけれども、飲酒とたばこぐらいはやっていたのだけれども、もうそんなのではないしね。コロナのこともあったし、様々な感染症のこともここで学ぶということなので、幅広いなと思いますけれども、どうでしょうか。

○平井委員 保健体育の保健に費やされる時数がないようですので、この教科書一冊を全部やっていくというのは非常に時間がない中では厳しいのではないかなと思います。その中でデジタルコンテンツの役割は今回大きいかな。今までややもすると、ちょっとおろそかになりつつあった中で、デジタルコンテンツの果たす役割はすごく大きいかなと思っています。特に先ほど説明がありましたけれども、東書では質の高い動画やシミュレーシ

ョン、思考ツール、章末問題など、様々な学習に場面で活用できるということも調査の結果で出ていますし、昨今の社会状況から考えると、やはり子どもたちに言葉で伝えるよりも、視覚を通して伝えるということがすごく大きいかと思うのです。ですから、この役割は大きいかなと思いますし、教科書会社がどこまで昨今の状況を取り上げているのかな。東書なんかは熱中症も取り上げてくださっていますし、今もう本当に一番の問題なので、子どもたちに日常というか、身近なものとして感じられるとか、学んだことが即、自分に返ってくるようなものでなければいけないのかなと思います。その点からも東書がいいかなと思います。

○伊藤教育長 平井委員から東書でいいのではないかということがありました。

だけれども、本当に幅広いか、この後、家庭科の教科書のときでもあるのだけれども、災害のやつで避難のことも保健体育で全部扱っているということなので、これだけのものを網羅すると、昔は体と運動の文化みたいなものをそこで扱っていたからいいのだけれども、今はもうそれを超えているよね。だから、心の健康も全て扱わなければいけないし、こういう中でこれらの教科書が構成されていると考えると、私は、それだけの時間が短い中だと、子どもたちにどれだけ興味のある巻末資料が豊富に入っているか。それと、教科書というか、読み物というか、教員たちは教科書を題材にして授業をするのだけれども、子どもたちが資料として時間が空いているときに目を通したりなんかするような意味での資料数の多さや、または、平井委員が言うようにデジタルコンテンツでそれが見れるというのがとても大事な要素になるのかなと私自身は思っているところがございますけれども、皆さん、お決まりでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、採決に入ります。目録順に4者読み上げますので、挙手をお願いします。

(東書4票、大日本0票、大修館0票、学研1票)

○伊藤教育長 以上の結果、最多の4票を得ました東書を採択することに決定します。「保健体育」の採択についての審議を終了といたします。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「技術・家庭（技術分野）」の審議に入ります。技術・家庭（技術分野）については3者となります。それでは、採択資料作成委員会の報告を、小宮委員長、お願いいたします。

○小宮委員長 技術・家庭（技術分野）は、東書、教図、開隆堂の3者です。報告書25ページを読み上げさせていただきます。

東書は、教育基本法第2条2項に示されている「職業及び生活」に関連して、社会とかわるコラム『技術の匠』はものづくりにおける責任感や倫理観、工夫・創造することの大切さなどを伝えるとともに、職業観・勤労観が養われるように配慮されている。また、教育基本法第2条3項に示されている「男女の平等」に関連して、話し合い活動や制作活動を男女関係なく協力して行っている姿が、掲載写真やイラストで示されている。さらに、『TECH Lab（テックラボ）』には問題解決のために身に付ける必要がある基礎技能について、わかりやすくまとめてあり、製作の見通しをもって学習できるように工夫されている。学校からは、「「技術の見方・考え方」や「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせた学習となるよう、内容構成に工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教図は、教育基本法第2条2項に示されている「職業及び生活」に関連して高等専門学校と職業を紹介するコラム『技ビット』で学習内容と生活との関連を生徒が意識することができるように配慮されている。また、別冊『スキルアシスト』には実習中に作業を確認できるよう加工法が詳細に掲載されている。さらに、デジタルコンテンツでは製作上の成功例と失敗例を確認でき、生徒の事前学習や自己評価に役立つよう構成されている。さらに、設計・計画に必要な要素を多数掲載し、生徒が自ら問題解決できる工夫がされ、『やってみよう』には、レポートのまとめ方について記入見本を提示することで生徒が取り組みやすくなるよう工夫されている。学校からは、「体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

開隆堂は、教育基本法第2条5項に示されている「伝統と文化を尊重し」に関連して、日本の伝統的な技術や、先人の知恵、技能が日本の文化を支え発展させてきたことを理解し、自らの生活の中で継承・発展できるよう工夫されている。また、学習指導要領に示された「技術による問題解決」に関連して、『問題解決の手順』が幅広く紹介され、創造性や自主性及び自立性を養うことができるよう構成されている。さらに、問題解決的な学習の導入では生徒に問題意識をもたせ『CHECK』でふりかえり、自ら解決しようとする資質・能力が養われるよう配慮されている。学校からは、「学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの報告に対しましてご質問等ありましたらお願いいたします。

○海野委員 採択資料作成委員会ではどんなことが話題になりましたでしょうか。

○小宮委員長 やはりデジタルコンテンツが充実しているという話題、見通しを持って製作活動やレポートづくりができるよう様々なコーナーを各社設けているという説明がございました。

○武井委員 2点あるのですけれども、情報セキュリティーと情報モラルについて何か調査員から説明がありましたでしょうか。

○小宮委員長 情報セキュリティー、情報モラルについては調査員からの説明はありませんでした。事務局でもしできればお願いします。

○教育支援担当部長 令和6年度神奈川県教育委員会の教科用図書調査研究の結果を見ますと、情報活用能力の育成という観点、部分で、各発行者とも、情報モラルや情報セキュリティーといった情報技術の特性及び注意点等に関する内容を取り扱っているという報告がございます。

○伊藤教育長 各社ともそういう情報モラルや情報セキュリティーの情報技術の特性、注意する点について、内容としては取扱いがあるということでございます。

○平井委員 東書の技術の匠について具体的な説明はありましたか。

○小宮委員長 東書の技術の匠とは、社会と関わるコラムとして、ものづくりにおける責任感や倫理感などの大切さを伝えるとともに、職業観、勤労観が養われるよう工夫しているという説明がありました。また、その紹介をする際に、性別を問わず、様々な職種の方が職業について紹介されているという話がありました。

○伊藤教育長 キャリア教育にもつながるような様々な仕事の紹介というか、そういう匠の方々の紹介が、これで見ると男女問わず紹介されているということですね。

今、技術・家庭は時間的にどれぐらい……。技術・家庭は技術分野と家庭分野とあるのだけれども、その扱いの時間はどれぐらいだったかな。

○教育支援担当部長 技術・家庭として、1年生、2年生が年間70時間、3年生が35時間、半分ぐらいです。

○伊藤教育長 年間70時間だと、単位としたら2時間か……。だから、技術としては1時間、家庭科としては1時間、3年生になると合わせて1時間か……。だから、要するに週1回しかない。これだけで勉強できるかな。すごい内容だよ、これ。だって、昔はち

り取りを作ったりなんかするのでやったけれども、違う。コンピューターも含めて、災害への対応も含めて、全部この中に入っているのだよね。これは課題解決を1つ始めたら、3か月終わってしまうのではないかなと思うような感じのあれなのだけれども。技術・家庭の授業自体ももう変えなければいけないかもな。前と同じようにものづくりをやっていたら、1年間で1本、物を作ったら終わったりするよね。技術の現場の授業自体が教科書に沿って変わっていかなければいけないのかなと思います。そういう意味でも有効な教科書であるべきだと思うのですが、技術・家庭はもちろん男女共修だよな。そんなことを私が聞いてはいけないかな。一緒にやっているのだよね。

それでは、どうでしょうか。皆さん、この技術のものを見ていただいて、時数としては先ほど説明があったぐらいの時数でしかないということです。これ1冊の教科書で技術分野はいったとしても、3年生になったら、上手には割れませんけれども、2週間に1回、技術の時間があって、次の週は家庭科の時間が来るという組合せになって進んでいくということなのですから。

それでは、それぞれの方、意見がありましたらお願いいたします。

○武井委員 3者ともすごくよくできておまして、見通しを持って学習に取り組めるような構成となっているように感じました。

○伊藤教育長 学習課題がきちんと明示されていたり、それに対して取組や学習過程がある程度教科書の中に示されている形で進められているというか、課題提示があったりするので、そういう意味では、どこの教科書も流れとしてはうまくできているような気がします。めあてと書いてあったり、キーワードと書いてあったり……。

○濱田委員 教図の別冊「スキルアシスト」について、これも実習中などには、安全上に留意すべき点が記載されていると思いますので、持ち運びしやすいような丁寧な解説ということから、生徒にとっても大変扱いやすい資料ではないかなと思いました。

○伊藤教育長 濱田委員から、スキルアシストはとても便利なのではないかな。ここにキーの入力が出ていたりするけれども、一家に一冊みたいな感じの技術・技術のいろいろなものが……。

○武井委員 分かりやすい。

○伊藤教育長 だから、海野委員が家庭菜園をやっていると言っていたけれども、そういうことも全部書いてあるのです。だから、一冊あったら結構便利でないかなと思ったりするぐらいのあれですけれども、病害虫への対応とか、ペンキ塗りの仕上げの仕方とか、す

ごいすね。

先ほど光村ではあれだったですけれども、前回の教科書採択のときには海老名市教育委員会はこういうのはなくしてしまうからやめようとなったのですよ。いろいろ意見が大分変わってきましたね。ああ、去年は小学校だったからね。

○平井委員 技術は製作活動も入ってくるので、教科書を見たときに分かりやすいものがないかなと思って見ていました。そういう中では、東書が割と分かりやすいかな。手順を踏んで、ずっと2ページくらいを枠の中で、流れで書いてありますので、そういう部分ではいいのかなと思いますし、先ほどの男女平等という形で男女が活動している写真なども取り入れていますし、そういう技術、家庭も含めて、共同で共に学びを進めていますので、こういう形が大きいのかなと思っています。また、『技術の匠』においても、それぞれがいろいろな形で参考になるものが出ていますので、これらも子どもたちがちょっと読んで、参考になっていくのかなと思います。

なかなか時間が少ない中でこれだけの量を消化していくのは本当に可能なのだろうかという、学習指導要領に則って教科書は作られていると思うのですが、どこを取って、どこを落としていくか。そういうところが時間の少ない中では必要ではないのかなというようなことを感じながら、技術科の教科書を見させていただきました。中身が濃過ぎて、これだけのものを子どもたちが3年間の中で消化できていくのだろうかという思いがしています。

○伊藤教育長 3年間使う教科書ということで、教科書自体はどここの会社も学びの過程はうまくつくられているので、時間、時間とかである程度できるようにはなっているかな。でも、実際は、技術なら、自分で触ってみたり、作ってみたりすることも必要になったりするし、また、生活の中でそれが実感できたりするようなこと。また、その先のこと、将来のことを考えると、自分が社会生活の中でどういう役割を果たすとか、自分はどうあるべきかを考えるということなので、本当に大事な教科でもあるのだけれども、いかんせん授業としては時数がすごく限られた中ですので、どの教科書が子どもたちにとって本当に分かりやすいかということで、私は先ほどと同じように資料が充実していて、子どもたちが空いている時間でも本に目を通して、様々なことを自分なりに課題を持ったり、また、知識として身につける。それだけの資料がしっかり充実しているものがないかなと思ってはいるところがございます。

それでは、採決に移りたいと思いますけれども、よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 教科書目録順に発行者を読み上げますので、よろしくお願いします。

(東書 4 票、教図 1 票、開隆堂 0 票)

○伊藤教育長 以上の結果、最多の 4 票を得ました東書を採択することに決定します。

「技術・家庭（技術分野）」の採択についての審議を終了します。

○伊藤教育長 続いて、中学校教科用図書「技術・家庭（家庭分野）」の審議に入ります。家庭分野についても、先ほどと同様、東書、教図、開隆堂の 3 者でございます。それでは、採択資料作成委員会からの報告を、小宮委員長、お願いいたします。

○小宮委員長 技術・家庭（家庭分野）です。今、教育長がおっしゃったように、東書、教図、開隆堂の 3 者となっております。報告書 27 ページを読み上げさせていただきます。

東書は、特に衣服の手入れにおいては、小学校の既習事項を復習した後、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで学習が系統的に進められるよう記載されている。また、動画やシミュレーションを含む解説などが充実した二次元コードによって、授業の効率化が図れるように工夫されている。さらに、6 つの食品群について、実物大の写真や折り込みページを活用した食品や料理、献立の写真を充実させることで、生徒の興味・関心を引き出し、学習を深めることができるよう構成されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成 29 年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教図は、衣食住の生活に関わる日本の伝統文化を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。また、実物大の食品写真や、地域ごとの野菜・郷土料理など、視覚的に興味を引くことができる工夫がされているとともに、充実した資料が掲載されている。さらに、選択学習のページでは、性別や人種、年齢や障がいの有無などにかかわらず、協力・協働していくことができるよう、本文の記述やイラスト・写真などが配慮されている。学校からは、「文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

開隆堂は、災害や防災などの事例を積極的に取り上げ、日常的に防災への意識を高め、生命を尊ぶ態度を身に付けられるように構成されている。また、諸外国に目を向ける事例

を豊富に取り上げ、世界の国々に関心を持ち、他国と協力してこれからの国際社会に貢献しようとする態度を育むようにされている。さらに、スキムミルクの無機質が灰になって残ることを例に、科学的根拠に基づいた知識・技能の習得が図られるよう工夫されている。学校からは、「文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 先ほど音楽のときは一般と器楽合奏で同じ教科書会社をあれしたけれども、技術分野と家庭分野は同一のものがという意見は採択資料作成委員会ではないですね。ある、ないで結構です。

○小宮委員長 それぞれ技術分野だけを教えている教員が調査をし、家庭分野だけ教えている教員が調査をしたこともあり、特にその辺については一切説明とか、意見とかはありませんでした。

○伊藤教育長 3者しかないからあれなのですけれども、それでは、採択資料作成委員会の報告についてのご質問等ありましたらお願いいたします。

○武井委員 生徒が興味関心を持って学習できるような工夫というのは調査員の方から説明はあったのでしょうか。

○小宮委員長 生徒の興味関心を持ってということですが、どの発行者も写真やイラストを積極的に掲載して、生徒の興味関心を高められるよう工夫しているという説明がありました。特に東書や教図は実物大の写真を活用して、視覚的に興味を引くようになっておりまして、充実した資料が掲載されているという説明がございました。

○濱田委員 17ページ、技術・家庭（家庭分野）だと思うのですけれども、防災教育の視点でまとめられている発行者について、何か調査員からプラスの報告、説明というのはあったのでしょうか。

○小宮委員長 防災についてでございますが、特に開隆堂では災害や防災などの事例を積極的に取り上げ、日常的に防災への意識を高められるよう工夫されているとのことでした。

○伊藤教育長 開隆堂についてはそういうことで、調査員からの報告があったということでございます。これもすごい量ですよ。だから、さっきの技術分野と家庭分野で同じような場所もあったりもしないでもないから、男女共修でやっているわけだから、家庭科からどうだということではなくて、技術科に……。両方とも調理実習はやるわけだし。そう思うと、ものづくりをやったりもするだろうし、さっき言った様々な防災とかはもちろ

んそうだし、子育てというか、乳幼児の扱いということも全部やるわけだから、そう考えると、さっきのやつと2つをうまく合わせて整理できればいいのにな。でも、教員免許はそれぞれ違ったり、また、教科としての学習指導要領の中身がそれぞれ違うから、どうもこの辺が……。

○濱田委員 ポリュームがあり過ぎてしまう。

○伊藤教育長 技術分野にも災害のところがあったのですよ。家庭分野にも同じように入っているとは思いますが、家庭分野として、どの教科書が子どもたちとして学びやすいか、考えるということですよ。さっきの開隆堂……。もう終わってしまったか。いい感じなのだけれども、さっきは何であれだったのかな。

○濱田委員 セットでね……。

○伊藤教育長 セットでうまくやっていたらと思うのだけれども。これが実物大ということか、サケ。ああ、そうだ、材料が。小学校の教科書よりもでかいのではないの、それ。そんなことはいいか。

それでは、ご質問等はよろしいですね。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 では、家庭分野の採択についての協議を進めますけれども、ご意見のある方はお願いいたします。

○濱田委員 先ほどの開隆堂の質問ではないのですが、防災教育への意識を高め、生命を貴ぶ態度を育もうという構成になっていることが分かります。災害は、いつ、どこで起きるか分からないことを考慮しますと、学習を通して防災への意識を高めることは大変重要であるし必要であると考えます。

○伊藤教育長 そういう意味でいうと、やっぱり家庭科についての考え方がこれから……。家庭生活の安全・安心を、この後、子どもたちが大人になっていくことを考えると、こういうことを勉強するのがこれからの家庭科ということにひょっとしたらなっていくのだろうなということですね。お料理は、今はチンするとすぐにおいしいのができるようになりましたから、いろいろな工夫をどのように行うか。だから、去年の小学校のときも、調理実習は防災のときの調理実習の例が出ていました。だから、災害時の調理実習みたいなものが出ていたりするので、大分視点が変わっているのかなと思います。

○海野委員 東書と開隆堂は実物大の写真を掲載していて、生徒の興味や関心を引き出して、学習を深めることができるのかなと思いました。

○伊藤教育長 先ほど武井委員の前で見ていたやつですね。実際のね。でも、写真としては無駄とも言えないし。

○武井委員 分かりやすいです。

○伊藤教育長 でも、教図はここで生活便利ブックか何かがあればよかったのにね。さっきの技術分野のやつはあったけれども、今度はないのよね。

○濱田委員 「資源とごみの分け方・出し方」みたいなやつ。

○伊藤教育長 そういうのをやったら……。だから、防災のときもぱっと持ち出していける感覚のものが家庭生活の中で大事なものみたいなものがまとめられていると、また違うのかなと思ったりもします。

○平井委員 家庭科は学ぶ内容が日常生活に直結しているだけに、現在の社会状況をどう捉えて、どう学ばせていくかというものを教材化するのがすごく難しく思いました。というのは、社会もどんどん変わっていて、防災にしても、消費生活にしても、食生活にしても、海老名でも取り上げていますがそれでも食物アレルギーとか、いろいろな課題が出てきている中で、教科書会社が非常にそのあたりを教科書に盛り込んでいくことは大変なことなのだろうなと。日々変わるものですから、現在は、2年先、3年先に使用するものではないけれども、現状の中でいかにどれだけのを教科書の中に載せ込んでいって、子どもたちに理解させていくかというところでは、家庭分野はすごく難しいのではないかと思います。

調理実習一つを取り上げても、今までなかったようなファストクッキングとか、パックの食品を使って簡単に調理するような、そういうものがどんどん入り込んでいて、子どもたちにどんどんそういうものを取り入れた食生活、衣食住をさせていかなければ今の生活はできていけない中に来ていると思うので、そういう意味ではできるだけ細かく、本当に1ページ、1ページ見ていくとすごく細かく書いてある。非常事態になったら作るものも変わってきますし、マスクづくりも入っていますし、もうあらゆるものが今までの教科書と変わってきているなと感じます。そういう面から見ていくと、開隆堂のほうが丁寧に書いてあるかな、つくってあるかなと思いますので、私は開隆堂で学ばせていきたいなと思っています。

○伊藤教育長 小学校の教科書は開隆堂ではなかったかな。去年採択しているけれども、自分が小学校の教員のときに使っていたものも開隆堂だったような気がするのだけれども、平井委員は開隆堂ではなかったですか。

○平井委員 開隆堂。

○伊藤教育長 そうだね。だから、そういう意味で、家庭科のこういうものの基本的な作りはすごく丁寧なのかなと私も思うところでございます。

これは小中の関連は全然ないし、また、先ほど言ったように技術分野との関連についても調査員から報告がなかったということですので、採決してよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 3者でございます。教科書目録順に発行者を読み上げますので、先ほどと同じように挙手をお願いいたします。

(東書1票、教図0票、開隆堂4票)

○伊藤教育長 以上の結果、最多の4票を得ました開隆堂を採択することに決定します。

「技術・家庭(家庭分野)」の採択についての審議を終了といたします。

ここで、審査から2時間経過しておりますので、一時休憩ということで審議を中断したいと思いますけれども、よろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、これから15分間ということで、15時20分まで休憩といたします。

(休 憩)

○伊藤教育長 それでは、休憩前に引き続き、教育委員会7月定例会を再開いたします。

○教育支援担当部長 すみません、お時間いただきます。先ほどの保健体育の協議の中で、保健体育、年間105時間のうち、保健分野の時間配当についてのお答え、準備不足で、その場でできませんで大変失礼しました。確認しましたけれども、3年間で48時間程度配当することになっておりますので、1学年当たり16時間平均になるのですけれども、そのあたりは学校の実情に応じてということになっております。

○伊藤教育長 だから、学年で割ると、105時間のうち16時間程度が保健の学習にということで、これは1つの目安ということだね。

○教育支援担当部長 さようでございます。

○伊藤教育長 分かりました。委員さん方、よろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 そのぐらいの時間ですので、先ほどの教科書の分量でいうと、やはりかなり様々な部分が多く取り上げられているので、資料としてどれぐらい子どもたちが活用できるかというものの1つの要素にはなるのかなと思いますけれども、もう既に採択は決定しておりますので。

○伊藤教育長 それでは続いて、**中学校教科用図書「英語」**の審議に入りたいと思います。それでは、採択資料作成委員会の報告を、小宮委員長、お願いいたします。

○小宮委員長 英語は、東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館の6者です。報告書29ページ、30ページを読み上げさせていただきます。

東書は、言語材料の知識と技能を基にした言語活動『Stage Activity』を設定し、生徒が自分で思考し判断したことを適切に表現してコミュニケーションをとるための能力を段階的に育むようにしている。また、取り扱う題材や人物の出身国など、多様性について気づきを促す『ダイバーシティメモ』が設けられている。さらに、教育基本法第2条に関連して、英語を通して他者とつながる体験を積み上げ、国際交流において自らの行動について考えることができるよう配慮されている。学校からは、「国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

開隆堂は、理解を深め達成感が得られるような学習の進め方ができるよう、各単元の始めに新出表現に関する知識技能を習得し、単元末には題材に関連したテーマで行う自己表現活動が設けられている。また、日常生活だけでなく、他国の自然や動物に関わる話題や環境に関する題材があり、豊かな感性を磨くことができるよう工夫がされている。さらに、全学年を通して配当時間数が100時間以内に設定され、生徒の実態に応じた指導ができるように配慮されている。学校からは、「学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

三省堂は、フードコートでの店内放送や注文の仕方など生徒に興味関心をもたせる題材に加え、英語を使う必然性のある目的や場面、状況がバランスよく配置されている。また、各単元末の言語活動『Goal Activity』では、深い学びにつながる課題を設定し、生徒が主体的に考え、自分の気持ちを表現できるように工夫がされている。さらに、学習指導要領の「話すこと〔やり取り〕」の目標に基づき、日常的な話題や社会的な話題につい

て即興で会話を続けたり、感じたことを伝えあったりできるように意図されている。学校からは、「小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教出は、新出単語において、小学校の発信語と分けて併記することで小学校での学習の復習とともに、中学校での学習が円滑に進むよう設計されている。また、各単元の最後に達成度を振り返る欄と巻末には4技能5領域ごとに振り返る『Can-Do 自己チェックリスト』があり、学習の見通しをもって取り組める工夫がされている。さらに、目安となる指導時数が100時間を超えており、復習から発展的な学習など継続的に学習に取り組めるよう十分な時間設定がされている。学校からは、「生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

光村は、各Unitの本文に、生徒にとって身近な話題を設定し、実社会で英語を使う場面が展開されている。多様な文化や価値観を学ぶことができるよう工夫されている。また、巻末の『英語の学び方ガイド』では、領域別の学び方や活動への取り組み方が紹介されており、生徒自身が英語の力を高めていくことができるよう構成されている。さらに、教科書の付録や学び方ガイドなども十分に扱うことができるよう、指導時数の目安が各学年100時間程度に設定されている。学校からは、「国際理解を深めることにつながるように、世界の人々や日本人の日常生活、風俗習慣、物語、地理、歴史、伝統文化、自然科学などを、生徒の発達の段階や興味・関心に即して効果的に取り上げるなど、工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

啓林館は、各単元の始めに『Input』と『Output』の目標が明示されており、学習の見通しが立てられるよう工夫されている。また『Check』を活用し、生徒自身が学習を振り返る機会が設けられている。また、各単元は、学習の見通しを立てる『とびら』、知識・技能を習得する『Part』、思考力・判断力・表現力を育成する『Think&Speak/Write』によって構成されている。さらに、学校教育法第21条に関連して、地域社会の一員として主体的に地域のイベントや祭りに参画できるような態度を養えるよう工夫されている。学校からは、「小学校と関連した構成となるよう、小学校外国語活動及び外国語科で扱った音声や語彙、表現を取り上げるなど、工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、採択資料作成委員会からの報告に対しましてご質問等がある方

はお願いいたします。

○平井委員 小中学校の接続について調査員からの説明はありましたか。

○小宮委員長 ございました。各発行者とも、小学校での学びを生かして中学校での学習が円滑に進むよう構成されているとの説明がありました。また、2年生、3年生と学年が上がるごとに題材の内容もよりグローバルになって、高校への接続も意識されているという話がありました。

○伊藤教育長 小学校も教科化になって、教科書が採択されて進んでいるところでございますけれども、その中には、各社それに配慮されていて、なおかつ高校への接続も意識されているものもあったということでございます。

○海野委員 指導時間の設定については説明はありましたでしょうか。

○小宮委員長 学習指導要領上の英語の時数については年間140時間という設定がされているところではございますが、その教科書で扱う内容については、先ほどの報告書でも100時間程度、100時間以上、100時間以内というような表現がありましたけれども、生徒の実態に応じた指導や復習から応用までたくさんの方のことを学べる指導など、各社、指導の狙いに合った指導時間の設定がなされているとの説明がありました。

○濱田委員 先ほどの学校意見の中で、教出だけではないのですが、教出について、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているという報告がありましたけれども、何か具体的な内容とか、そういうものがありましたらご説明を下さい。

○伊藤教育長 教出に係る学校意見についての質問でございます。

○小宮委員長 教出について、復習から発展的な学習など継続的に学習に取り組めるよう十分な時間が設定されていることから、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされていると調査員からも説明があったところです。

○伊藤教育長 6者並んでいて、「NEW HORIZON」、「Sunshine」、「NEW CROWN」、「ON E WORLD」、「Here We Go!」、「BLUE SKY」という教科書の名前と言うのは変ですがけれども、タイトルがそれぞれあって、私たちが中学校のときからあったような、聞いたことがあるようなタイトルもあつたりするところでございますけれども、小学校は、昨年、多分「Here We Go!」だから、光村の教科書を採択したのかなと思っています。そのときは、光村の小学校教科用図書を採択するに当たって、その前に海老名が前倒しである程度小学校の英語を進めたときに、文部科学省から指導資料として提示されたものが光村の教

科書とある程度合致しているという理由で昨年は採択したことを覚えているんですけども、今年はこの中でどのようなものかというか、どの教科書が子どもたちにいいか……。

1つは、濱田委員が質問した生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮というのも採択のポイントになるのかな、判断のポイントなのかなと私自身は思っているところでございますけれども、採択資料作成委員会への質問についてはよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 私は田舎の英語だったので、英語自身がズーザー弁で教えられていましたので。発音どころではなくて、東北弁の英語を覚えて、恥ずかしかったことを覚えているんですけども、皆さんは話せるのですか。多分高校のときもやったと思うのだけれども、何もしゃべれないですよ。今の子どもたちにとってそういうものであっていいものかどうかというのは非常に課題になるところであって、そういう中で子どもたちは……。小宮委員長、小学校の校長先生も経験しましたよね。小学校の子どもたちの英語の時間は……。校長先生のときはもう教科化されていたのですか。

○小宮委員長 されていました。

○伊藤教育長 小学校の子どもたちの英語の力はどうでしたか。

○小宮委員長 教科化というより、3年生以上はかなり時数があって、毎週英語の時間があって、ALT等も来てやっているということで、予想以上にしゃべるな、話せるなというふうに思いました。もちろん中にはそれぞれというところはありますけれども、文法とか、そういうところをすごく細かくというよりは、すごく楽しみながら話しているという気はします。中には端末と連動させた授業で、端末を人に見せながら、英語で2分間ずつスピーチをする。自分の紹介したい外国の有名な選手であるとか、芸能人であるとかを2分間しゃべり続けるというのも見に行きましたけれども、すごくびっくりするほどしゃべっているなと思いました。

○伊藤教育長 そもそもしゃべれるの。2分間、そうやって紹介できるの。

○小宮委員長 もちろん前もって……。

○伊藤教育長 練習とかはするよね。

○小宮委員長 何をしゃべるかは考えていると思いますけれども、本当に何も見ずにしゃべっていました。

○伊藤教育長 もう1つ、また突っ込みで、教育支援担当部長は中学校の英語の教員だっ

たと思います。授業から大分離れているとは思うのですけれども、どうでしょうか。教科書採択に当たって、教育支援担当部長も様々な教科書を見たのでしょうかけれども、何か意見等があればお願いいたします。

○**教育支援担当部長** 覚えていてくださって、ありがとうございます。恐縮でございます。英語を教えていたのですけれども、私自身、英語の授業、教科書を使ってももちろん教えるのですけれども、教科書だけの内容だとなかなか子どものモチベーションとかが続かないので、例えば教科書の題材の先にあるものとか、人権問題とか、環境問題とか、もしくは文化の違いとか、そういったところに結びつけるような教科書が比較的使いやすく、楽しかったなど。ちょっと過去形になってしまいましたけれども、そんなことを考えながら授業をしておりました。

○**伊藤教育長** そういう社会とか、SDGsの問題とか、そういうのにも関連づけられると、子どもたちの興味関心は教材というか、題材を介して高まるということでご意見をいただきましたけれども、さあ、どうでしょうか。

それでは、協議というか、皆様のご意見をお伺いしてもよろしいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○**武井委員** 各社とも言語活動にすごく工夫が見られまして、生徒が主体的に考えて自分の知識や考え、気持ちとかを表現できるよう大変よく構成されているなどと思います。

○**伊藤教育長** 本当に言語活動を大切にしてい進められていますね。

○**平井委員** 各社とも生徒の関心が高まるような教材を扱っていると感じました。海老名市内の小中学校は外国につながる児童生徒の在籍が多くなってきていますし、学校も多様化してきています。児童生徒の視野の広がり、知識の習得からいっても、海老名市はずっと何十年と英語教育に力を入れてきていますので、やはり日常生活だけでなく、海外にも目を向けることも大きいかなと思っています。そういう点から、開隆堂は他国の自然や動物に係る話題や、また、環境に対する題材を取り上げていますので、子どもたちが視野を広げて、今後の学びに夢を持って英語教育を楽しんでくれたらいいかなと思いますので、ちょっと視点を変えて、そういう部分での学びに入ってもいいのかなというふうに思いました。

○**伊藤教育長** 平井委員は、先ほど麻生教育支援担当部長から話がありましたけれども、子どもたちの様々な興味関心に合わせてという意味では、開隆堂の教材、題材の選定の仕方がよいのではないかという意見でございます。

○海野委員 先ほど私たちが英語が話せるのかなんていう話もありましたけれども、私たちを含め、周りに英語が少なく、ただ教科書を覚えていたようなことがあったのですが、今は周りに英語もいっぱいあふれていますし、小学校からやっているということもありますが、やはり学ぶに当たっては、生徒にとって分かりやすく、理解が深まることが大切だと思いますので、よく考えて決めたいなと思っています。

○伊藤教育長 生徒にとって分かりやすい工夫、指導の配慮がなされているものということですね。

○濱田委員 私は、既に学習した事項を振り返って、円滑に学習を進める取組であったり、基礎から応用まで十分に扱うことができるような目安となる指導時数が十分確保されている教出がいいのかなと考えております。

○伊藤教育長 様々扱う中で、先ほど採択資料作成委員会への質問にも濱田委員からありましたけれども、生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮とはどういうことだということで、小宮委員長からの回答というか、調査員からの意見が紹介されたのですけれども、どのようなことが子どもたちにとっていいのかなということでございます。表紙を眺めると、三省堂以外は子どもたちをいっぱい、複数名描いている。でも、三省堂は、1人なのだけれども、すごくおしゃれな教科書で、すごくセンスがいい表紙だなと私は思うのですけれども、教科書は表紙で決めるわけではないので。

それでは、皆さん、どうですか、挙手する教科書発行者については決まりましたか。

○濱田委員 はい。

○伊藤教育長 濱田委員だけ自信を持ってはいと言っていますけれども、ほかの方はそういう返事がないところでございます。

○武井委員 はい。

○伊藤教育長 実をいうと、今この場で全て初めて見るような感じですがけれども、私と教育委員さん方は、かなりの時間をかけて事前に教科書全てを見てきていますので、そういう中でどんなものがあるか。ここは正式な審議の場ですが、これまでも少なからず皆さんと意見交換をした中で進めてきましたので、よろしくをお願いします。

それでは、教科書目録順に発行者を読み上げますので、挙手をお願いします。

(東書0票、開隆堂1票、三省堂0票、教出4票、光村0票、啓林館0票)

○伊藤教育長 以上の結果、最多の4票を獲得した教出を採択することに決定します。

「英語」の採択については審議を終了とします。

○伊藤教育長 最後に、中学校教科用図書「特別の教科 道徳」の審議に入ります。それでは、採択資料作成委員会からの報告を、小宮委員長、お願いいたします。

○小宮委員長 特別の教科 道徳は、東書、教出、光村、日文、学研、あか図、日科の7者です。報告書31ページ、32ページを読み上げさせていただきます。

東書は、「考え、議論する道徳」を実現するために、各教材に『つぶやき』欄が設けられており、思ったことや考えたことを記入することで、話し合い活動を円滑に行えるよう工夫されている。また、本編教材、コラム、付録教材の3つで構成され、教材末の発問や役割演技などの体験的な学習により教材と関連したテーマをもとに考えを深める工夫がされている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

教出は、生徒の発達段階に即した教材を系統的に配置している。第1学年では自分自身に関することが多く、第2、3学年では集団や社会との関わりを扱う教材の割合が大きくなるよう構成されている。また、写真、絵本、漫画など、内容が理解しやすい多様な教材が掲載されている。また、考える時間を十分に確保し、生徒の話し合いが円滑に進むよう構成されている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

光村は、主体的に学ぶ力を育てるため、1年間の初めに道徳は何を学ぶ教科なのかを自覚し、自分なりの学びの目標がもてるよう構成されている。内容項目が生徒に親しみやすいイラストと言葉で示されている。また、○巻末に『まなびの記録』が設けられ、自身の変化や成長を自覚でき自尊感情を高め、主体的に学ぼうという意欲につながる工夫がされている。学校からは、「文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

日文は、「考え、議論する道徳」や対話的・協働的な学びの実現のため、グループトーク、付箋や思考ツールを活用したより効果的な議論の方法が『学びを深めるヒント』などで示されており、話し合い活動が円滑に進む工夫がされている。また、別冊『道徳ノート』には、友達の意見や話し合いをメモし、多面的・多角的に考えられる配慮がされている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

学研は、持続可能な世界に向けて、現代の課題（SDGs）について考えを深めるために、

自然愛護等について考える教材が用意されている。また、情報モラルだけではなく、デジタル技術を用いて積極的に社会参画し、活用するためのスキルやマインドシップ（デジタルシチズンシップ）について生徒が考えられる工夫がされている。学校からは、「学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

あか図は、各学年の最初の教材に『道徳 始まりの時間』が設けられており、授業開きとして用いることで、現在の自分を見つめるよう配慮されている。そこには、偉人の名言等が記載されており、新学年の始まりに道徳の学び方を理解できるような工夫がされている。また、近年活躍したスポーツ選手の教材を扱っており、生徒が興味関心をもちやすいようになっている。学校からは、「文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

日科は、一部の教材において、導入として4コマ漫画が掲載され、内容項目についてイメージをもちやすいよう工夫されており、学習上の困難を抱えている生徒も活動に参加しやすいよう配慮されている。また、議論する道徳につながるよう、生徒が自身の価値観をまとめたり、他者に伝えたりするのに役立つ『ウェルビーイングカード』が巻末に設けられている。学校からは、「中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされている。」という意見が多くあった。

○伊藤教育長 それでは、7者ということですので、まずは採択資料作成委員会の説明、報告に対しましてご質問等ありましたらお願いいたします。

○濱田委員 Unit学習、その点について調査員から何かご説明がありましたでしょうか。

○小宮委員長 Unit教材は、例えばいじめの防止とか、生命の尊重とか、1つ1つの項目について複数の資料をまとめて勉強するというものでございますけれども、多くの教科書がUnitの形態で重点とする内容項目を多面的、多角的に考えられるように構成しているという説明がございました。

○平井委員 特徴的な題材を取り入れている発行者はありますか。

○伊藤教育長 題材の取り上げ方で特徴的なことが調査員から報告があったかということでございます。

○小宮委員長 どの発行者も狙いを持って特徴的な題材を取り扱っており、偉人の名言や近年活躍したスポーツ選手の生き方を題材として扱っていたり、いじめの防止や生命尊重

など、喫緊の課題に重点を置いていたりというような説明がございました。

○伊藤教育長 これを見ていると、すごく新しい出来事の題材もかなり入っていますよね。

○武井委員 子どもたちの生活において、今大きな課題となっているSNSなのですけれども、そのSNSによるトラブルとか情報モラルの扱いについては話題になったのかということについてご説明いただきたいと思います。

○小宮委員長 情報モラル等についても国の示す大きな柱の1つとなっているところがございます、各社取り扱っているという状況です。その中でも、特に学研につきましては、情報モラルだけではなく、デジタル技術を用いて積極的に社会参画し、活用するためのスキルやマインドシップについて生徒が考えられるよう工夫されているというような報告がございました。

○伊藤教育長 学研にはそういうものがあるという意見が調査員としてはあったということでございます。

道徳の教科化ということで、教科書を途中で1回採択して、1回前に採択して、前回は2回目ということで、教科化になったときに1度道徳だけの教科書採択したのを覚えているのですけれども、これまでもいろいろ教科書会社があつて、あか図とか、日科とか、道徳で初めて出てきたようなところもあるのですけれども、様々な教科書会社が本当に子どもたち……。学習指導要領に示されている子どもたちが学ぶ8項目というか、こういうことについて道徳で勉強するという内容は示されているのですけれども、どういう題材で子どもたちと共に考えるかは、やっぱり教科書会社のほうで題材を設定するわけですので、とてもそれは重要な部分になるし、また、さっきも言ったSNSとか、その前はいじめのことも取り上げられて、その都度その都度の社会的な問題についてもどんどんどんどん取り上げていくという工夫がされているところがございますけれども、教科化になって、私も中学校の授業を見に行くと、道徳の授業をよくしていて。だから、以前の道徳とは違って、子どもたちは結構題材について深く考えて、話し合い等も結構できていて、教員も道徳の指導、支援がとても上手になっているな。子どもたちもどんどん意見を出して、子どもたち同士がいろいろ考えたりするような形で道徳の授業はすごくいい授業が展開されているなど私は見ていて思っているところがございますけれども、そういう中でどういう題材が有効なのかとか、様々あると思いますけれども、自分たちが受けていた道徳とは全然違いますね。考え、議論する道徳ですから、前のこうだからでは……。

○武井委員 通用しない。

○伊藤教育長 通用しないです。

さて、それでは、採択資料作成委員会への質問はよろしいですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、協議ということで、委員さん方のご意見をいただきたいと思うのですけれども、事前に教科書学習会をやったときに海野委員が光村か何か、どこかのイラストが気に入っていると書いていたのを覚えているのですけれども、どんなイラストでしたっけ。

○海野委員 光村の別冊に出ていたイラストです。

○武井委員 どこですか。

○濱田委員 どこでしたっけ。

○伊藤教育長 どのイラストですか。今みんなで探していますから。

○海野委員 今、見つからないのですが、私がいいなと思ったのは、優しい絵が描いてあって。

○伊藤教育長 海野委員、これですか。

○武井委員 全体的にタッチは優しめですね。

○伊藤教育長 これですか。

○海野委員 すごく柔らかい感じがして。

○武井委員 多分トータル的にタッチが柔らかい……。

○伊藤教育長 今、海野教育委員のことで私がちょっと突っ込みを入れたというか、話を広げたのだけれども、実際は子どもたちにとってもすごく大きくて、教科書を見てやって、もちろん授業の中ではそのようなイメージを持たせないために、文章を切り取って渡す教員たちもいたりするのですよ。要するに事前のイメージを持たせない。でも、子どもたち、受ける側は教科書をもう渡されているので、そういう意味でいうと、本当に子どもたちにとって、例えばどういう写真……。だから、題材自体は1枚の写真から道徳はやってもいいのだけれども、大体は文章で来るのですよ。だから、その文章にどういう挿絵が入っているかによって、子どもたちは文章の意味が分かってしまうというか、先入観が入ってしまうから、あえて文字だけを出して授業を進める教員がいたりするのですけれども、そういう意味でいうと、実をいうと、こういう1枚1枚の中身を……。例えば、お友達同士の仲たがい何かを題材にしたような教科書にどんな挿絵がついているかとか、自

然への畏敬の念に対する価値観をやるときにどう自然の写真がそこに入っているかというのは、実をいうと、すごく子どもに対する影響が高いので、やっぱりこれはこれで、こういう感じの絵が子どもたちに与える印象とか、また、子どもたちがこういう挿絵の中で学習に対するほんわかかな気持ちになったり、前向きになったりすることがあるという意味で、結構重要なことだなと私自身は思っているのです。この1枚1枚の題材の中で、どういう項目に……。いっぱい挿絵は入っているのですよ、漫画とか。写真もいっぱい入っているのですよ、この題材の中に。それがどういうもので扱っているかというのが結構重要なことです。でも、それは、教科書会社の方はかなり議論したり、工夫したりして、それを入れているのだなと思いますけれども、そういう視点も大事だなとは思っているということでございます。

それでは、それぞれご意見いただいてよろしいですか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○平井委員 各社とも前の採択のときよりも、相当見直しがされているなという感じを受けました。やはり時代が変わってきていますので、子どもたちの状況を見ながら、また、社会の状況を見ながら、教材にも反映されているのだろうなと思います。その中で私がいつも道徳で思うことは、子どもたち1人1人が自分自身の問題として捉えて、答えが1つではないというときに、子どもが教科書の教材にどう向き合うのかという行動を考えています。教科書の最初に主題名、8項目を入れてしまうと、子どもたちはそのイメージで話合いがなされてしまうので、それよりもシンプルなほうがいいかなと思っていますので、できるだけ私は道徳の教科書はシンプルでいいと思っています。あとは、担任がどのように教材を通して、クラスの子どもたちの実態を通して授業をつくり上げていくかということが大事だと思っていますので、そういう点からいって、私は学研がいいかなと思います。

○伊藤教育長 平井委員はそのような意見ですけれども、濱田委員はいかがですか。

○濱田委員 道徳の授業、中学生になりますと、多様性を理解したり、人権感覚を培う教材も当然入っていると思いますけれども、各学校の授業でもそれぞれ掲載されている内容、発達段階に即して系統的に学べるように工夫して構成されていると考えました。

○伊藤教育長 各発行者、よくできているという感じで、濱田委員から意見をいただきましたけれども、海野委員はいかがですか。

○海野委員 先ほどちょっとお話をしましたけれども、光村は先ほどのような題材、そう

いったところの選び方とか、文章の量とか、表現の仕方に工夫がみられるので、生徒にとって読みやすく、思考しやすい構成だなと感じています。

○伊藤教育長 光村は読みやすく、思考しやすいのではないかというご意見がありました。

○武井委員 私は学研がいいと思ひまして、SDGsやデジタル技術の活用とか、これからの社会に参画するための心情を育む、育てるために必要な題材が丁寧に扱われているなと感じました。

○伊藤教育長 今、平井委員と武井委員から学研についてコメントがあって、濱田委員からはどこの教科書もよくできているなというご意見いただいたところでございますけれども、どのような形でそれをやるか。でも、子どもたちはこれを教科書にして、次年度以降、ある意味では節目として4年間、これによって海老名の子どもたちが道徳を学習することですので、それについて我々として職務を果たすというか、教育委員、教育委員会として決定していきたいと思ひますけれども、どうですか、皆さん、挙手とか決めましたか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、私もある意味ではシンプルのほうがいいのかなと思ひているところではございますけれども、教科書目録順に発行者名を略称で読み上げますので、挙手をお願いいたします。

(東書0票、教出0票、光村2票、日文0票、学研3票、あか図0票、日科0票)

○伊藤教育長 最多の3票を獲得した学研を採択することに決定します。以上をもちまして「特別の教科 道徳」の採択についての審議を終了いたします。

ここまでで、1点目の令和7年度使用中学校教科用図書の採択についての審議を終了いたします。小宮委員長におかれましては、ご報告、本当にありがとうございました。これからの審議については採択資料作成委員会での協議の対象ではございませんが、引き続きご同席いただいてもよろしいですか。よろしく申し上げます。

○伊藤教育長 では引き続き、2点目の令和7年度使用小学校教科用図書の採択についての審議に入ります。審議に入る前に、事務局より採択についての詳細をお願いします。

○教育支援担当部長 それでは、令和7年度使用小学校教科用図書採択についてご説明いたします。

小学校教科用図書については、令和5年度の海老名市教育委員会7月定例会において、令和6年度から9年度まで4年間使用する教科用図書を採択しておりますが、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律により、毎年度種目ごとに同一の教科用図書を採択することが規定されております。

令和7年度に使用する小学校教科用図書は、令和5年度に採択した別紙4——61ページ以降になります——、令和6年度使用小学校教科用図書一覧の教科書を採択することについて議決を求めるものでございます。

また、参考までに別紙5——63ページです——として、令和6年度使用小学校教科用図書海老名市教科用図書採択資料作成委員会報告書を添付してございます。

説明は以上となります。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明に対してご質問等ありましたらお願いいたします。

○海野委員 昨年度採択した小学校教科書が今年度から使用開始になっていると思います。採択した教科書について小学校の先生から何か意見はありますか。

○教育支援担当部長 現時点では、指導がしにくいなどの採択した教科書に関するマイナスの意見等は来ておりません。今後、教科書について何か意見等がありましたら、随時お伝えしたいと思っております。

○伊藤教育長 現行で使っている学校の教職員からは、これについての意見はないというか、問題はないということでもありますけれども、これについては、昨年、皆さんが採択したものでございますので、令和7年度についても昨年度採択したこれまで使用してきた小学校教科用図書をもう1年間使用することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。それでは、2点目の令和7年度使用小学校教科用図書については、別紙4、令和6年度使用小学校教科用図書一覧のとおり採択いたします。

○伊藤教育長 次に、3点目の令和7年度使用特別支援学級教科用図書の採択についての審議に入ります。

審議に入る前に、事務局より採択についての詳細をお願いいたします。

○教育支援担当部長 令和7年度使用特別支援学級教科用図書の採択についてご説明いた

します。

通常の小中学校の教科用図書は、採択地区ごとに1種目について1種類の図書が採択され、4年間にわたり使用することになっておりますが、特別支援学級教科用図書については「学校教育法附則第9条による教科用図書及び高等学校で使用する教科用図書について」によりこの限りではなく、1年間の採択期間で、種目について複数の図書を採択することができます。

そこで、文部科学省著作教科書及び別紙6、一般図書一覧から教科用図書として児童生徒に応じて選択するため、採択について議決を求めるものでございます。

なお、別紙6、一般図書一覧は、令和6年6月の時点のものでございます。

○伊藤教育長 それでは、ただいまの説明に対して何かご質問等ありましたらお願いいたします。

○平井委員 今年度、特別支援学級の児童生徒が使用している一般図書はどのようなものがあるのか、幾つか教えていただけますでしょうか。

○教育支援担当部長 幾つか例を示します。図鑑ですとか絵本、そして、CDやDVDなどがセットになった図書などがございます。児童生徒の興味や関心を持つことにつながるものやそれぞれのニーズに応じたものなどが使用されているということでございます。

○伊藤教育長 図鑑とか、絵本とか、CD、DVDとかも教科書として扱われて、子どもたちはそれを活用しているということでございます。

○平井委員 今日頂いた資料を見ても相当一般図書の数であふれていますので、本当に子どもたちが幅広いもので選択して、学びができるのではないかなと思います。ですから、担任の先生方には、児童の特性や実態を十分に理解した上で、一般図書の選定と活用をしてほしいなと思います。そして、子どもたちが楽しいという思いを持って学べるように、先生方には努力していただけたらありがたいなと思います。

○濱田委員 今の質問に関連すると思うのですが、一般図書を使用するに当たって、保護者の方と学校は何か連携を取って資料について判断されるのでしょうか、質問します。

○教育支援担当部長 支援級の担任を中心に、学校側と保護者が十分によく話し合っただけで決まるところでございます。

○濱田委員 分かりました。

○伊藤教育長 教科書無償配付ということで、保護者の方にもその恩恵があるので、話し

合って決めているということでございます。

ほかにはいかがですか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 それでは、ご質問がないようですので、原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○伊藤教育長 ご異議なしと認めます。3点目の令和7年度使用特別支援学級教科用図書の採択についてを原案のとおり可決いたします。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、教育委員会7月定例会を閉会いたします。

小宮委員長におかれましては、お忙しい中、採択資料作成委員会の報告書作成、また、本日の報告と、ご尽力、誠にありがとうございました。

傍聴の方々、長い時間、ありがとうございます。本日はこれで終了させていただきます。今後ともよろしく願いいたします。

では、皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございます。